

[第 1 号議案]

1-1. 2018 年度事業報告

1. 概況：重点活動
 2. 会員の異動状況
 3. 会議等に関する事項（総会，理事会，各種委員会）
 4. 実施事業 1：調査研究活動（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
 5. 実施事業 2：人材育成（定款第 4 条 1 項 4 号）
 6. 実施事業 3：学術講習会の開催（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
 7. 実施事業 4：会誌の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
 8. 実施事業 5：論文誌・学術図書等の刊行（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）
 9. 実施事業 6：標準化活動（定款第 4 条 1 項 3 号）
 10. 実施事業 7：国際活動（定款第 4 条 1 項 5 号および 2 号）
 11. その他：関連学協会との連絡および協力（定款 4 条 1 項 6 号）
 12. 法人運営
- 付 1. 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）
- 付 2. 研究会および研究発表・学術講習会等一覧
- 付 3. 刊行物（会誌・論文誌・図書等）一覧
- 付 4. 国際会議一覧
- 付 5. 表彰等
- その他・附属明細書

2018 年度 事業報告

1. 概況および重点活動

IoT (Internet of Things) , ビッグデータ, 人工知能(AI)が社会の注目を集め, これからの未来を大きく変えようとする現在, 本会の果たすべき役割はますます広がっている。これまで学会の抜本的改革を継続的に推進してきたこと, またジュニア会員制度の積極的な推進により, 会員の減少傾向に歯止めをかけ, わずかではあるが個人会員数が増加に転じた。調査研究活動, 学会誌の発行, 論文誌編集活動, 学術講習会の開催, 標準化活動においても, 新たな取り組みに挑戦しつつ, 成果を上げている。また, 会員サービス向上のため, ロードマップに従い学会情報システムの改版作業を行い, 今年度途中からサービスを開始した。財務的には, このシステム改版費用の影響があったものの, 黒字をキープした。一方, 会員サービスを中心とするこれまでの学会の在り方を補完する新たな取り組みの検討を開始した。具体的には, 今後の会員数の継続的な増加に向け, 長期戦略理事が中心となり, 本会のイベント参加状況等の分析を進めることで, 会員および非会員の本会に対するニーズを把握し, それに基づいて会員数増に資する施策の策定方針を検討した。社会に対して本会の専門性を還元するため, 魅力的なイベント企画を推進し, 本会会員だけでなく一般の方々に開けた活動を通して情報処理技術の価値を発信した。また, 情報処理技術の使い手である他学会や関連団体とも積極的に連携し, 技術に対する健全なフィードバックを得る。本会はこれらを通じて社会から信頼される情報処理分野におけるリーダーシップを確立していきたい。

特筆すべき改革や成果としては, 下記のものがあげられる。

- ロードマップに従い学会情報システムの改版作業を行い, サービスを開始した。
- ジュニア会員向け活動の活性化を図る事を目的として, ジュニア会員活性化委員会(時限)を立ち上げ, ジュニア会員向け Web ページのリニューアルやメール配信等広報活動を実施した。また, 各種諸活動においても, ジュニア会員向けのセミナー「Exciting Coding! Junior」, 全国大会での中高生によるポスターセッション, 会誌「先生, 質問です!」コーナー, ジュニア会員の論文掲載料無料化, 支部でのジュニア会員向けイベント等々の施策を行い, ジュニア会員制度の周知強化に努め, 制度創設以来最高の 1,642 名を達成した。
- 新世代企画委員会における若手の活発な取り組みを続け, 会誌「先生, 質問です!」コーナーの新設や, ニコニコ動画との連携, 全国大会での「IPSJ-ONE」, 学会イベント受付のオンライン化, 勉強会フォーラム等の取り組みを推進した。また, ジュニア会員向けサービスの企画検討を進めた。
- Info-WorkPlace 委員会の活動目的を, 女性会員への支援のみならず多様な人が一緒に活躍できる場を提供する方向(ダイバーシティ)へと転換し, メーリングリストの整備, 全国大会での自主イベント企画などを通じ広報と会員の意識向上に努めた。
- 昨年度 IFIP IP3 からの認定を受けた, 実務家・IT エンジニア向け新サービスである認定情報技術者制度(CITP)において, 新たに 1,997 名の認定情報技術者が誕生し, 累計で 9,402 名を認定した。
(注: IP3: International Professional Practice Partnership)
- 情報システム委員会を新設し, これまでの電子化委員会を改変, セキュリティ委員会を包含するとともに学会システム WG(時限)を終了して新たな課題を設定した。
- 長期戦略理事が中心となり, 中長期戦略について本会のイベント参加状況等の分析を進めることで会員および非会員の本会に対するニーズを把握して行く計画案について検討した。

この他にも、グローバル化を目指した取り組み、査読システムのリニューアル、電子図書館のサイトライセンスサービス、国の政策や方針に対する活発なパブリックコメントの発信、国内外学会との連携などで多くの成果が出始めている。

1.1 学会運営体制の充実および財政基盤の強化

急激に変化する環境の中で、学会を安定的に運営しつつ、これを発展させるために、学会としてのトラディショナルな活動は今までどおり大切にしつつ、新しいアイデアを積極的に取り入れて、学会を柔軟に改革できる運営体制の整備として下記の施策を進めた。

- ① 学会価値の向上による会員増と財政基盤の強化に取り組むとともに、理事を中心とした入会促進活動およびジュニア会員制度の積極的な推進により、結果前年度約 200 名の減少から、今年度は 162 名の増加に転じた。
- ② 会員サービスの向上、運用コストの削減、セキュリティ対策の強化等を目標に学会システムのリニューアルを実施しマイページを復活するとともに、2018 年 9 月より運用を開始した。また、支部 Web サイト（関西・九州）の移設を行った。
- ③ 長期戦略理事を中心に中長期戦略について企画政策委員会で検討した。
- ④ 新世代企画委員会活動では、会誌とも連携し「先生、質問です!」コーナーの連載を開始した。
- ⑤ アドバイザリーボードからの「新しい学会の姿」、「学会の社会的責任」といった観点での提言をうけ、企画政策委員会で検討した。
- ⑥ 会員数の増加を図る為にジュニア会員向けサービス拡充や理事を中心に入会促進活動を行った。
- ⑦ 2020 年の本会創立 60 周年を迎えるにあたり、各種記念事業の検討を開始した。

1.2 学生・若手研究者育成のための活動および体制強化

- ① 新世代理事を中心とする横串の組織「新世代企画委員会」活動を推進し、新世代（学生・若手研究者・若手技術者）の発想を学会運営に取り込む活動を推進した。
- ② 小学生から大学学部 3 年生までがオープンに入会申込できる「ジュニア会員制度」を推進し、若い世代の入会を促進した。また、「Exciting Coding! Junior 2018」など、数々のジュニア会員向けイベントを開催・共催した。2019 年 3 月末現在ジュニア会員数は 1,642 名である。
- ③ 研究会や支部などの協力も得て、学生や若手研究者のためのイベントを企画開催した。また、学生や若手を対象とした賞を授与した。

1.3 調査研究活動ならびに提言活動の推進

- ① 学会のコアの活動として、研究会による諸活動を推進した。コンピュータサイエンス領域、情報環境領域、メディア知能情報領域の 3 領域に分けて、領域委員会を 3 回ずつ開催し（内 1 回は調査研究運営委員会・3 領域委員会合同委員会）、研究会間での情報交換を促した。
- ② 調査研究運営委員会、政策提言委員会、教育委員会が連携し、国の政策および方針に関する「デジタルコンテンツ系専門職大学院基準（改定案）」などに関するパブリックコメント募集に対して、各専門の研究分野と連携して積極的な提言活動を行った。
- ③ 個々の研究会活動を超えて、領域または調査研究全体による活動を支援するために、調査研究活動の積立資金よりプロジェクト（期間 2017 年 11 月 1 日～2018 年 10 月 31 日）を募集し、国際会議支援、女性研究者支援、若手研究者支援などの 6 件（総額 92 万円）を採択し支援することとした。
- ④ 情報保障の導入を支援するため、アクセシビリティ研究会で実施している文字通訳や手話通訳に対して、調査研究活動の積立資金より 48 万円を補助した。
- ⑤ 複数の研究会の共催による「DICOM シンポジウム」、「インタラクション」などを開催した。
- ⑥ 研究会参加受付のオンライン化（Passmarket）を試行した。

1.4 グローバル化

- ① 英文論文誌 Journal of Information Processing (以下, JIP) のインパクトファクタ取得について, 諸対応を検討した。現時点では JIP がインパクトファクタを取得する条件を満たしておらず, 論文の Citation 増の方策を検討した。arXiv といったパブリックなプレプリント・サーバーへの登録を認め, JIP 論文のビジビリティ向上を進めた。
- ② 国際的に広く使われている商用査読管理システム ScholarOne Manuscripts の運用を行い, JIP を中心に査読プロセスをグローバルスタンダードに合致させ, 利用ノウハウの蓄積を進めた。
- ③ 研究会活動を中心に, 国際会議の主催や共催を推進した。情報環境領域プロジェクトとして, ACM CHI への参加費・旅費の援助を行った。
- ④ IEEE や ACM のようなグローバルトップの国際学会との連携 (学会員向けサービス等) に加え, 若手向け表彰として「IPSJ/IEEE-CS Young Computer Researcher Award」および「IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research」を新設した。
- ⑤ アジア地域の国々との連携の機会を検討し, タイのプーケットで Asia Pacific Conference on Robot IoT System Development and Platform 2018 (APRIS2018) を行った。
- ⑥ アジアの関連学会である中国 CCF (China Computer Federation), 韓国 KIISE (Korean Institute of Information Scientists and Engineers) との中長期的な交流に向けて意見交換や相互訪問を行った。また, 中国の福州で開催された CNCC2018 において CJK Joint Technical Forum を共同開催した。

1.5 実務家・IT エンジニア向け活動の強化

- ① 高度IT人材の資格制度である「認定情報技術者 (Certified IT Professional: 略称 CITP) 制度」においては, 個人認証の資格更新審査を進め, 2014年度に認定したCITPのうち8名の資格を更新した。また, 昨年度, IFIP IP3の国際認定を得たことからCITP個人登録は順調に増大し, 今年度の資格登録者の総数は1,997名, 年度末時点の累計で認定したCITPは9,402名となった。また, 技術士 (情報工学) に対してCITP資格を付与することになった。
- ② ソフトウェアジャパン, デジタルブラクティス, 連続セミナー・短期集中セミナー, ITフォーラムなど, 各種の実務家・ITエンジニア向け活動を通じて集客に貢献した。
- ③ 情報処理推進機構 (IPA), 情報サービス産業協会 (JISA), 日本情報システム・ユーザー協会 (JUAS), 電子情報技術産業協会 (JEITA), 科学技術振興機構 (JST), 先端 IT 活用推進コンソーシアム (AITC), インターネット協会 (IAJ), 情報通信技術委員 (TTC), 日本データ通信協会 (JADAC), 新世代M2Mコンソーシアム (M2M), 日本規格協会 (JSA), モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) などの実務家・IT エンジニアを対象とする団体との連携を深めた。

1.6 教育活動の充実

初等中等教育, 専門学校そして大学などにおける情報教育, および企業の技術者を対象とした教育プログラムの推進に向けて, 以下の施策を実施した。

- ① カリキュラム標準 J17 (J17-CS, J17-IS, J17-CE, J17-SE, J17-IT, J17-GE, J17-CyberSecurity) を学会 Web ページにて公表し, パブリックコメントを募集し, 情報収集を行った。
- ② 大阪大学から再委託され実施している「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」について以下の事を行った。
 - ・「情報科」入試実施における情報科での「思考力・判断力・表現力」評価手法の検討
 - ・「知識・技能」+「思考力・判断力・表現力」を評価するための本格的 CBT 試行システムの構築
 - ・「情報科」大学入学者選抜に関するシンポジウムや大会セッションなどの広報活動
- ③ アクレディテーション活動 (教育機関における技術者教育プログラムの認定, JABEE からの委託, 国際水準を目指して教育改善を推進しソウル協定の活動に協力) を継続した。

- ④ 高校教科「情報」の教員免許更新講習会の開催および教育シンポジウム・ワークショップ・コンテストの運営と後援を実施した。
- ⑤ J17-SE に関連してソフトウェア工学教育に関する国際会議の動向を調べ、日本での将来的な開催に向けた誘致や関連活動を進めた。また、IEEE-CS COMPSAC2018 併設の形でソフトウェア開発タスク実行の国際コンテスト（Java Programming T1 Challenge）の運営に参画し、ソフトウェア開発やプログラミングに関する学生や若手の人材育成に貢献した。
- ⑥ 情報プレースメントテスト（IPTS：Information Placement Test System）の開発と実施に、高大接続の一環として協力した。プレテストの実施、結果の分析、本番用のテスト問題作成と e-learning プラットフォームへの実装を行った。
- ⑦ 大学入試センターに対して教科「情報」の試験問題サンプルを作成、提出した。
- ⑧ リカレント教育の WG について検討した。
- ⑨ 第 81 回全国大会において中高生ポスターセッションを企画、実施した。

1.7 会員サービスおよび広報の充実

- ① 2014年度に提携したダウンゴ社のニコニコ動画配信は継続し、全国大会などイベントのリアルタイム配信とともに、Info-workplace委員会でのオンライン読書会放送など利用を拡大した。
- ② 研究会の非会員参加者のトラッキングや広報のために、イベント・シンポジウム等申込サイトの外部サービス利用をユビキタスコンピューティングシステム研究会などで施行した。

1.8 学会システムの運用開始

新規システム構築のスケジュールに基づき、クラウド型（SaaS, ASP型）の新学会情報システムの機能（入会・マイページ・各種申込・各種オンライン決済・会員管理・研究会管理・行事管理・集計・台帳出力等）を開発し、運用を開始した。これにより業務効率化、会員サービスの向上、セキュリティ強化が期待できる。また、各支部と協議し、関西支部と九州支部が運営するWebサイトに関して、第一段階としてISPの統一とセキュリティ強化を行った。2019年度の上期に残り6支部もISP統一とセキュリティ強化を行い、その後、共通プラットフォームとCMSの構築を行う等、8支部サイトの統合化を検討する。

2. 会員の異動状況

会員種別	会員数		増減数 ①－②	備考：2018年度の異動内訳				
	① 2018 年度末	② 2017 年度末		入会		退会		資格 喪失
名誉会員	39	38	1	2	正会員から異動	1		
正会員	15,453	15,165	288	458 692 1	学生会員から異動 ジュニアから異動	** 418 2	名誉会員に異動	443
学生会員	2,728	2,363	365	1,306 43	ジュニアから異動	** 236 692 0	正会員に異動 ジュニアに異動	56
ジュニア会員	1,642	782	860	928 0	学生からの異動	** 24 44	学生会員に異動	
個人会員 計	19,862	18,348	1,514	3,430		1,417		499
賛助会員 (口数)	258 (589)	240 (572)	18 (17)	23 (26)		5 (9)		

* 2018年度期末正会員数には終身会員 629 名を含む。

** 新システム移行に伴う年度末退会日の変更(3月31日から4月1日に変更)により年度末退会は翌年度の退会数にカウント。

(2018年度末退会 1,352 名(正会員 495 名, 学生会員 376 名, ジュニア会員 481 名)は 2019 年度の退会へ)

(参考：従来カウントでの 2018 年度末会員数(個人会員計 18,510 名(名誉 39 名, 正 14,958 名, 学 2,352 名, ジュニア 1,161 名))

3. 会議等に関する事項（総会、理事会、各種委員会）

総会、理事会をはじめ、法人運営、調査研究活動、人材育成活動、事業活動、機関誌／出版活動、標準化活動、国際活動に関する各種委員会を開催した。また、総会においては普段交流の少ない賛助会員にも学会活動に親しんでもらい、交流を深めることを目的として講演会と交流会を実施、本会コンピュータ博物館の歴史遺産の一つである「自己相関係数計算機」の展示も行った。詳細は付録 1 (p. 19～p. 33) に掲載する。

4. 実施事業 1：調査研究活動（定款第 4 条 1 項 1 号および 2 号）

4.1 研究発表会、シンポジウム・講習会等 [所掌：調査研究運営委員会および各領域委員会]

40 研究会、4 研究グループにより活動し、研究発表会（158 回）およびシンポジウム等（22 回）を開催した。詳細は付録 2 (p. 34～p. 40) に掲載する。

※前年度参考：40 研究会、4 研究グループ、研究発表会 156 回、シンポジウム 24 回

[1] コンピュータサイエンス領域

10 研究会により、研究発表会（40 回）、シンポジウム等（8 回）を行った。それぞれの研究会が積極的な活動を行っているが、中でも特記事項は次の通りである。

- ① データベースシステム(DBS)研究会が電子情報通信学会・日本データベース学会と共催で「第 11 回 Web

とデータベースに関するフォーラム（WebDB Forum 2018）（2018年9月12日～14日，東京工業大学）」を開催した。参加者は344名で，企業スポンサーは25社と盛況であった。

- ② 優秀な若手会員を顕彰するため，領域共通の積立金を活用して2018年度コンピュータサイエンス領域奨励賞を17名に授与した。
- ③ 今年度より新たにコンピュータサイエンス領域功績賞を新設し，領域共通の積立金を活用して個人7名と1団体に授与した。

[2] 情報環境領域

16研究会により，研究発表会（62回），シンポジウム等（9回）を行った。特記事項は次の通りである。

- ① 領域全体の活動として，領域共通の積立金を活用したプロジェクトを募集し，学生スマートフォンアプリコンテスト，国際会議支援，女性研究者支援，IS デジタル辞典改訂支援，研究基礎力向上のための勉強会開催支援，シンポジウム開催支援の6件のプロジェクト（総額92万円）を支援することとした。前年度採用したプロジェクトの一部は成果報告を行い，領域の活性化に貢献したことを確認した。
- ② 10研究会*が合同で，ネットワークに関する研究分野を対象に，研究者間の深いディスカッションと交流の場となるよう合宿形式による「DICOM02018シンポジウム（2018年7月4日～6日，福井県芦原温泉清風荘）」を開催した。参加者は427名であった。
※マルチメディア通信と分散処理（DPS），グループウェアとネットワークサービス（GN），モバイルコンピューティングとバーベイスシステム（MBL），コンピュータセキュリティ（CSEC），高度交通システムとスマートコミュニティ（ITS），ユビキタスコンピューティングシステム（UBI），インターネットと運用技術（IOT），コンシューマ・デバイス&システム（CDS），セキュリティ心理学とトラスト（SPT），デジタルコンテンツクリエイション（DCC）各研究会
- ③ 5研究会*が合同で「インタラクシオン2019シンポジウム（2019年3月6日～8日，学術総合センター）」を開催した。実システムのデモを通じて発表者と参加者との双方向的なコミュニケーションを重視したインタラクティブ発表などは毎年好評を博し，今回も700名を超える参加者を得て盛会であった。ジュニア会員は参加費無料とすることで会員増にも貢献した。
※ヒューマンコンピュータインタラクシオン（HCI），グループウェアとネットワークサービス（GN），ユビキタスコンピューティングシステム（UBI），デジタルコンテンツクリエイション（DCC），エンタテインメントコンピューティング（EC）各研究会

[3] メディア知能情報領域

14研究会，4研究グループにより，研究発表会（56回），シンポジウム等（5回）を行った。

- ① エンタテインメントコンピューティング（EC）研究会が4研究会などの協賛のもと，「エンタテインメントコンピューティング2018シンポジウム（2018年9月13日～15日，電気通信大学など）」を開催し，参加者は200名を超えた。
- ② 複数研究会でニコニコ生放送等にて研究発表会の動画中継を行った。
- ③ 新たな研究グループとして，ビッグデータ解析のビジネス実務利活用（PBD）研究グループが新設された。ソフトウェアジャパン2019の全体企画を担当し，ビッグデータ特別セッションを実施した。

4.2 その他

(1) 表彰

優れた研究発表および業績等に対して，山下記念研究賞，業績賞，情報処理技術研究開発賞，マイクロソフト情報学研究賞，IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research，IPSJ/IEEE Computer Society Young Computer Researcher Award，若手奨励賞を贈呈した。付録5（p. 47～p. 50）に掲載する。

(2) 新設研究グループの所属と新設について

領域横断的な研究グループなどの受け入れを可能とするために、従来の領域に属する研究グループに加えて、調査研究運営委員会直属の研究グループを設立できるように規約を改正した。また、この規約を適用して、調査研究運営委員会直属の研究グループとしてオープンサイエンスと研究データマネジメント研究グループを新設することとした。

5. 実施事業2：人材育成（定款第4条1項4号）

初等中等教育を含む情報教育、および企業の技術者を対象とした教育プログラムの推進に向けて、以下の施策を実施した。

5.1 情報教育カリキュラムの策定 [所掌：情報処理教育委員会]

(1) 情報専門学科カリキュラム標準（J17）のフォローアップ

J17の中核となるJ17-CS, J17-IS, J17-CE, J17-SE, J17-ITの情報専門学科用カリキュラム標準、一般情報教育用カリキュラム標準J17-GE、および、サイバーセキュリティを学会Webページにて公表し、パブリックコメントを集め、フォローアップ作業を行った。

(2) 初等中等教育での情報教育支援

国の情報教育の方向および内容に関して、他学協会とも連携して意見書や試作学習指導要領の作成公表などの提言を行った。高専プロコン交流育成協会（NAPROCK）との連携により、高専プロコン連携シンポジウムの実施を行った。また、初等中等教育現場の情報分野教員の養成支援、教材開発や出張授業などを通じて、教育現場支援をさらに推進した。文科省からの「講師紹介窓口」としての紹介・受付開始・対応ガイドラインの策定をした。4つの自治体（青森県教育委員会、東京都立高等学校、三重県教育委員会、和歌山県教育委員会）から依頼を受け、講師紹介を行なった。

5.2 アクレディテーション（技術者教育プログラムの認定） [所掌：情報処理教育委員会]

アクレディテーションによる大学・大学院専門教育の質的向上の推進のため、日本技術者教育認定機構（JABEE）委託の認定評価を継続した。関連して、認定校・受審予定校のコミュニティの育成、専門職大学院認証評価などの活動支援を行った。また、JABEEに協力して情報専門系課程教育の質保証に努め、ソウル協定による国際水準を目指して教育改善を推進した。JABEE審査4件を担当した。JABEEの審査基準の変更に委員を派遣し、審査基準の個別基準の変更作業を行った。JABEEのソウル協定の活動に、委員会として貢献した。

5.3 教員免許更新講習の開催 [所掌：情報処理教育委員会]

2014年度より実施している高校の教科「情報」に関する教員免許更新講習を引き続き実施した。東京地区（東京大学）、東海地区（名古屋文理大学）と関西地区（大阪大学、大阪電気通信大学）で開催した。本会が講習を実施することは、「情報」に特化した更新講習を実現し、高校の情報科教員の知識の更新（アップデート）に役立つものであった。

5.4 認定情報技術者制度 [所掌：資格制度運営委員会、個人認証審査委員会、企業認証審査委員会]

認定情報技術者（CITP）においては、個人認証の資格更新審査を進め、2014年度に認定したCITPのうち8名の資格を更新した。今年度の新規の企業認定はなかったものの（認定企業数は累計8社）、昨年度、IFIP IP3の国際認定を得たことからCITP個人登録は順調に増大し、今年度の資格登録者の総数は

1,997名、年度末時点の累計で認定したCITPは9,402名となった。また、技術士（情報工学）に対してCITP資格を付与することになった。CITPホルダーにより第21,22回のCITPコミュニティ本会議が開催され、11月には、昨年度に引き続き、本会東北支部の協賛を得て石巻シンポジウムが開催され、高度IT資格”CITP”とSociety5.0、AIを活用した社会価値の創造事例の講演やシビックテック・ワークショップなどが行われた。

5.5 その他 [所掌：情報処理教育委員会]

(1) 教育シンポジウムならびにコンテストの運営・後援等

教育に関するシンポジウムならびにコンテストを企画運営した。高校教科「情報」に関するシンポジウムを東京で開催した。大学の情報教育に関するシンポジウム「これからの大学の情報教育」を北海道大学で共催した。情報システムに関連する教育実践の一層の拡充を図るために、情報システム教育コンテストを開催した。また、若い世代への本会のプレゼンス向上を目指して、大学生、高校生等を対象とするコンテストの後援（表彰活動）等を推進した。第81回全国大会において、中高生を対象とした中高生ポスターセッション（発表件数37件、参加校数23校）を実施した。さらに、高大接続のための情報プレースメントテストを一般情報教育委員会の委員の所属大学他で実施し、結果を全国大会のイベント企画で報告した。

(2) 大学入試科目に「情報」を導入するための活動

大阪大学から再委託され実施している「情報学的アプローチによる「情報科」大学入学者選抜における評価手法の研究開発」を継続し、以下のことを行った。

- ・「情報科」入試実施における評価手法の検討としては、次期学習指導要領を加味した知識体系の整理、情報科での「思考力・判断力・表現力」評価手法の検討を継続して行ない、模擬試験の策問、模擬試験の実施の支援、模擬試験の採点を行った。知識体系の整理に関連して、情報教育の参照基準の策定を進めた。
- ・「情報科」CBTシステム化に関する研究としては、「知識・技能」＋「思考力・判断力・表現力」を評価するための本格的CBT試行システムの構築を行なった。また、そのシステムのための試験問題の作問を行った。
- ・広報活動としては、「情報科」大学入学者選抜に関するシンポジウムや全国大会およびFITのセッションなどのイベントを企画した。
- ・大学入試センターからの依頼に応じて、情報科の試験問題サンプルを作成、提出した。

(3) 学会誌への教育関連記事の掲載

会員の情報教育への関心を高め、初中等教育現場関係者の学会活動への参加を促すために、学会誌に「べた語義」などの教育関連連載記事を企画・編集した。

(4) 表彰、その他

- ① 優れた情報教育の実践等を顕彰するため、優秀教育賞・教材賞を贈呈した。
- ② 教材、講義素材、講義資料などのデジタルアーカイブ実現に向けて調査・検討を行った。
- ③ 教育関連の事業活動の成果を学会収益に結びつける仕組みや寄付の募集を検討した。
- ④ 国際会議「World Conference on Computers in Education (WCCE2021)」の日本開催に向けた準備検討が進められた。

6. 実施事業3：学術講習会の開催（定款第4条1項1号および2号）

※各開催状況の詳細は付録2（p.40～p.42）に掲載する。

6.1 全国大会／FIT

(1) 第81回全国大会 [所掌：全国大会組織委員会]

第81回全国大会を2019年3月14～16日に福岡大学七隈キャンパスで開催した。本大会では、前回と同様に通常の一般セッション、学生セッションに加えて大会招待講演企画、大会イベント企画、展示会などのイベントを開催し、「大会イベント企画限定聴講参加（参加費無料）」の参加枠を設けた。また、今回より聴講参加費の改定を行った。

また、昨年に引き続き、ニコニコ動画によるメイン会場のライブ配信（来場者数：2.4万人）や、「IPSJ-ONE」、「IT情報系 キャリア研究セッション」（参加者延160名、出展26社）、託児所の設置、聴覚障害者向け情報保障（音声認識ツール、要約筆記）を行った。発表者と専門分野のマッチングを図る目的で「企業サポーター」制度も新設した（参加2社）。さらに、2022年度の学習指導要領改訂による高校「情報科」新カリキュラムを見据えて、新たに「中高生ポスターセッション」を開催し、37組の参加を得た。講演件数は1,192件（一般セッション244件、学生セッション948件）、総参加者数は2,905名であった。

※前年度参考：講演件数1,285件、総参加者数3,070名

(2) 第17回情報科学技術フォーラム（FIT2018） [所掌：FIT運営委員会]

FIT2018（第17回情報科学技術フォーラム）を、2018年9月19～21日に福岡工業大学において開催した。講演件数は508件、総参加者数は1,069名であった。船井業績賞受賞者米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 Abel Bliss Professor Jiawei Han氏による受賞記念講演を実施した。今回より電子情報通信学会研究会と共催したイベント企画（計11件）および既発表論文紹介セッションを設けた。また、スポンサー11口、ランチョンセッション2口を獲得した。その他、視覚障害者向け情報保障（音声認識ツール、PC通訳）の提供や、NVIDIA提供のGPUの抽選会（3名当選）を懇親会時に開催した。事務効率化と経費削減のため次回以降は事務局を本会が全面的に引き受けることとし、規程を改訂した。

※前年度参考：講演件数469件、総参加者数1,505名

(3) 表彰 [所掌：全国大会組織委員会]

優れた発表を顕彰するため、全国大会優秀賞・奨励賞などを贈呈した。詳細は付録5（p.50）に掲載する。

6.2 セミナー／ソフトウェアジャパン／プログラミング・シンポジウム

(1) 連続セミナー2018 [所掌：セミナー推進委員会]

「超スマート社会を切り拓く技術トレンドを探る」を全体テーマとし、年度内に全6回開催し、本会場（東京）延べ547名、遠隔会場（大阪）延べ105名、遠隔会場（東北）延べ60名、（全体）延べ712名の多数の参加があった。

※前年度参考：全6回、東京／大阪延べ参加者数716名

(2) 短期集中セミナー [所掌：セミナー推進委員会]

年度内に、次の短期集中セミナーを開催した。

- ・「Exciting Coding! Junior 2018：スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう！」
（9月）参加者：13組（26名）（小学校高学年向け）
- ・「音声・マルチメディア符号化技術～標準化最新動向および知財動向～」

(10月) 参加者：33名

- ・「Exciting Coding! Junior2019@Sapporo：スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう！」

(2月) 参加者：22組（44名）（小学校高学年向け）

- ・「「安心」なIoT世界の実現に向けて」（2月）参加者：41名

(3) ソフトウェアジャパン 2019 [所掌：IT フォーラム推進委員会]

「ビッグデータ、IoT、AI でプロフェッショナルを生き残れ」を学術総合センター・一橋記念講堂にて開催した。

今年度はビッグデータフォーラムの廃止に伴い新たにビッグデータ特別セッションを設け、午前に「IT フォーラムセッション(無料)、ビッグデータ特別セッション(有料)」, 午後に「メインセッション(有料)」という形で実施した。また、アワードセッションをメインセッションから懇親会の時間帯へ移動させた。さらに、午前のビッグデータ特別セッションと午後のメインセッション基調講演のニコニコ動画配信を行い、4,395 件の来場者数があった。また、音声認識ツールによる情報保障を行った。

総参加者数 435 名（メインセッション 217 名、IT フォーラムセッション 384 名、重複含む）

スポンサー：7 口、サポーター：18 口、メディア展示：3 口

※前年度参考：参加者数 643 名、スポンサー：5 口、サポーター：24 口、展示 1 口

(4) プログラミング・シンポジウム [所掌：事業運営委員会]

年度内に 3 回（第 60 回プログラミング・シンポジウム、夏のプログラミング・シンポジウム 2018、第 51 回情報科学若手の会）のシンポジウムを開催した。いずれも 2 泊 3 日の合宿形式で開催され、活発な議論が行われた。

6.3 IT フォーラム [所掌：IT フォーラム推進委員会]

- ① 2018 年度はサービスサイエンスフォーラム、コンタクトセンターフォーラム、CITP フォーラム、勉強会フォーラムの 4 つの IT フォーラムが活動を行った。ユニバーサルデザイン協創フォーラムは休止中。各フォーラムの主な活動内容は以下のとおり。

- ・CITP：4 回の全体コミュニティ会合を実施した。11 月には、本会東北支部の協賛を得て石巻シンポジウムを開催した。また、2018 年度版アニュアルレポートの発行を行った。
- ・コンタクトセンター：2 ヶ月に 1 回程度の勉強会を実施した。また、6 回の事例発表会を行った。
- ・サービスサイエンス：月 1 回程度のミーティングの他、「幸福学とサービスサイエンスをつなぐ」、「カスタマージャーニーが顧客のロイヤリティを醸成する」、「実設計に活用できるサービスプロセスモデルを創作する」の 3 つの分科会活動も並行して行った。
- ・勉強会フォーラム：今年度前半に 4 回程度の勉強会を実施した。

- ② ソフトウェアジャパン 2019 の IT フォーラムセッションにおいて、関連団体※との連携イベントを推進した。

※先端 IT 活用推進コンソーシアム（AITC）

6.4 AI プログラミングコンテスト [所掌：プログラミングコンテスト委員会]

- ① 学生および若手技術者の育成を目的として、世界規模の対戦型プログラミングコンテスト「Samurai Coding2018-19」を開催した（オンライン予選と決勝戦）。2 月 15 日（日本時間 2 月 15 日 23:59JST）を締切としたオンライン予選には、45 チームの参加があった。
- ② 決勝戦には、国際：1 チーム、国内：15 チームの全 16 チーム 24 名が予選結果から選抜され、2019 年 3 月 15 日（金）に福岡大学七隈キャンパスで第 81 回全国大会イベント企画として決勝戦を開催した。また決勝戦を全国大会参加者が自由に観覧できるようにすると同時に、懇親会には予選敗退チームも招待し、参加者およびスポンサーを含む関係者間の交流とプログラミング学習・スキル向上およびコンテストの取り組みの認知向上・広がりにより寄与するように努めた。

6.5 各支部による支部連合大会、講習会等の開催 [所掌：各支部]

支部連合大会、講習会、講演会、セミナー、国際ワークショップ、ジュニア会員向けイベント等、各支部において活発に活動がなされた。詳細は、付録2 (p. 42) および付録5 (p. 51) に掲載する。

7. 実施事業4：会誌の刊行（定款第4条1項1号および2号）

※発刊状況の詳細は付録3 (p. 43) に掲載する。

7.1 会誌「情報処理」 [所掌：会誌編集委員会]

(1) コンテンツ

- ① 会誌「情報処理」第59巻5号から第60巻4号まで計12号（本文1,126ページ，広告65ページ，平均発行部数17,012部／号）を編集発行した。
- ② 稲見編集長のもと「読まれる学会誌」を目指して，会員サービス，および会員増という観点から編集を行い，時宜を得た特集，連載，単発記事が提供できるよう努めた。
- ③ 学会Webとの連動企画として，昨年に引き続き9月号「研究会推薦博士論文速報」では，本誌に簡略版，Webにその詳細を掲載した。
- ④ 会員に気軽に会誌を開いてもらうための試みとしての連載漫画「IT日和」を継続した。
- ⑤ 会議レポートの掲載数を増やし，会員へ国内外会議の周知，また積極的な参加を呼びかけた。
- ⑥ 時事性・話題性の高い記事をスピーディに掲載する「特別解説」，著名人による「巻頭コラム」，シニアコラム「IT好き放題」，連載「古機巡礼/二進伝心」，連載「ビブリオ・トーカー私のオススメ」，教育コーナー「ぺた語義」を引き続き掲載し，概ね好評を得た。また，「ビブリオ・トーカー私のオススメ」を書籍化し今年度の販売部数は990部であった。
- ⑦ 連載「5分で分かる!? 有名論文ナナメ読み」，連載「リレーコラム」を開始した。
- ⑧ 他委員会と連携したジュニア会員向け企画記事として，連載「先生，質問です！」（新世代企画委員会），連載「集まれ！ジュニア会員！！」（セミナー推進委員会）を開始した。
- ⑨ 教員，実務担当者向けの記事として，特集「ラーニングアナリティクス」（59巻9号）を掲載，連載「情報の授業をしよう！」を開始した。
- ⑩ 他分野とつながる情報処理をテーマとした特集「吊いと技術革新」（59巻7号），「牛とIT/ICT」（59巻11号），「水産業と情報処理」（60巻3号）を掲載した。

(2) その他，広報・宣伝の充実および編集体制の改善

- ① 冊子版に掲載された広告をWebカタログとして学会Web上に掲載するサービスを継続した。
- ② 学生向けの「就職情報」の掲載企業は44社であった。
- ③ メールニュースをより魅力的なものとするため，昨年に引き続き「理事からのメッセージ」を掲載した。
- ④ App Storeでの会誌電子版の販売を継続した。2018年度の会誌アプリDL数は419件となった。またFujisanにて特集別刷電子版の販売を継続した。
- ⑤ 各記事のページ数を減らし，印刷コストの削減を図った。
- ⑥ IPSJメールニュースにおける会誌・論文誌の目次配信を継続した。
- ⑦ 58巻4号特別企画として作成した情報処理学会LINEスタンプシールのダウンロード数は10,242件となった。
- ⑧ 全国大会において，「先生，質問です！」公開セッションイベントを開催した。

8. 実施事業5：論文誌・学術図書等の刊行（定款第4条1項1号および2号）

※各発行状況の詳細は付録3（p.43～p.45）に掲載する。

8.1 論文誌（ジャーナル/JIP/トランザクション/デジタルプラクティス）

(1) 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊） [所掌：ジャーナル編集委員会]

① 論文の充実（論文投稿数の増加に向けた取り組み）

論文誌（一般論文，特集号論文）の月刊体制を維持し，245編（含 JIP preprint58編）が掲載された。招待論文を3編および特集号を16号発行した。ジャーナル/JIP 編集委員会幹事会が提案母体となる「若手研究者特集号」を企画（投稿条件：第一著者が会員）し，投稿と同時に第一著者31%の方が入会をした。全国大会でイベント企画「論文必勝法」を実施し，出席者に投稿を促した。

② 編集体制の改善

編集委員会の継続性の向上やノウハウの伝承のために，体制の見直しを行い，編集規程の改定を行った。この改定により，理事とは独立した編集長（任期は1期2年で再任まで）を設け，さらに，グループ主査および副査の任期について柔軟に対応できる体制となった。

(2) 「Journal of Information Processing (JIP)」 [所掌：JIP 編集委員会]

年間論文採録数の目標70編に対して採録件数は58編（うち招待論文2編）であった。2017年7月末でJIP掲載料30%割引キャンペーンを終了したが，その影響はほとんどなかった。なお，国外からの投稿に対する優遇策は継続している。

(3) トランザクション（10誌） [所掌：各トランザクション編集委員会]

研究会が編集した「情報処理学会論文誌（トランザクション）」10誌を年度内に計42回発行した。トランザクションの掲載論文は計130件となった。

(4) 実務活動の論文誌「情報処理学会デジタルプラクティス」 [所掌：デジタルプラクティス編集委員会]

- ① 論文誌「デジタルプラクティス」通巻34号～37号の特集号企画と編集，投稿論文の審査・共同推敲を行った（招待論文32編，特集号投稿論文7編，一般投稿論文7編，推薦論文3編を掲載）。
- ② DP掲載論文から電気科学技術奨励賞（旧オーム賞）の候補を推薦し，1社3名が受賞した。
- ③ FIT2018ではイベント企画「クラウドソーシング／ヒューマンコンピューテーション～デジタルプラクティスライブ～」を行った。
- ④ 著者に，より強い動機をもってクオリティの高い論文を執筆していただくために「デジタルプラクティス論文賞」の選考を行い，ソフトウェアジャパン2019にて授賞式を行った。
- ⑤ 「デジタルプラクティス」アプリを終了し，「情報処理学会」アプリと統合した。34号から過去分も含め移行させた。それによりランニングコストが削減された。
- ⑥ 第81回全国大会で企画セッション「ブロックチェーンによるイノベーションの展望と課題 ～デジタルプラクティスライブ～」を開催した。
- ⑦ 会員，賛助会員へ向けた「デジタルプラクティス」の認知度，関心度についてのアンケートを実施し，オンライン化の周知度向上が必要との現状確認をした。
- ⑧ 新規読者獲得のため，過去発行分29号，30号のhtml化を進めた。
- ⑨ 「デジタルプラクティス」の今後について4回打合せ，論文の位置付けの明確化，投稿数の確保，認知度の向上，財政面の改善という課題を整理した。来年度は体制を作り対策を実施する。

(5) その他

各誌の優れた論文を顕彰するため、論文賞、デジタルプラクティス論文賞等を贈呈した。詳細は付録5 (p. 47, p. 52) に掲載する。

8.2 専門誌：教科書シリーズ [所掌：出版委員会]

新しい体制で既企画のメンテナンスを中心に活動を行い、重版を21冊行なった。

8.3 歴史資料の保存・公開 [所掌：歴史特別委員会、コンピュータ博物館小委員会]

- ① 「情報処理技術遺産」3件の関連調査と認定を行った。(情報処理技術遺産累計：103件、分散コンピュータ博物館累計：10件)。詳細は付録5 (p. 52) に掲載する。
- ② 「コンピュータ博物館」の今年度のアクセス数は、454,464件(日英合わせ)、転載数1件であった。
- ③ 第81回全国大会で特別セッション「私の詩と真実」を開催した。

8.4 電子図書館事業の推進 [所掌：デジタルコンテンツ事業検討委員会]

- ① サイトライセンスサービスは65件の目標契約数に対して、67件と目標を上回った。
- ② 論文誌ジャーナル掲載論文へのdoi付与を検討した。
- ③ 電子図書館のユーザインタフェース、WAF付加によるセキュリティ強化等の改善を行った。

9. 実施事業6：標準化活動(定款第4条1項3号)

9.1 情報規格調査活動 [所掌：情報規格調査会]

(1) 国際標準化中心メンバーとしての貢献

前年度から引き続き、メディア符号化(SC29)、デジタル記録媒体(SC23)、文字コード(SC2)などの重点領域の委員会議長、幹事国などの国際役職引き受けを継続するとともに、国の代表として、JTC1総会(11月ストックホルム)に出席し、審議プロセス・組織の見直し、新規標準化領域などの議論に参加した。

- ① 今年度の引き受け件数は、議長4件(全22SC委員会中)、セクレタリアート5件(全22SC委員会中)。その他、コンビーナ(各SC委員会傘下のWG主査)13件(85WG中)、プロジェクトエディタ延べ83名と昨年同様に貢献した。
- ② 重要な標準化領域に対しては新たな会員の参加を促しつつ積極的に貢献している。新たに設立された分科委員会SC42(Artificial Intelligence)は、国内対応委員会としてSC42専門委員会を設置し、作業グループWG12(3D Printing and scanning)への国内対応委員会としてJTC1/WG12小委員会を設置した。また、JAG(JTC1 Advisory Group)の会議が開催されなくなったことに伴い、JTC1直下にサブグループ12個(AG1個、SWG2個、SG7個、AHG2個)が設置された。これに対応するため国内では、WG以外のサブグループに一括して対応するJTC1サブグループ対応小委員会を設置した。
- ③ 日本提案による国際標準化の推進としては、新業務項目(NP)の提案(承認済)7件、国際標準(IS)などの発行されたもの9件などである。
- ④ 国際会議の日本での開催：JTC1/SC6、SC7、SC32、SC35、SC41など7件の国際会議を開催した。また、2020年に岡山で開催されるJTC1総会に向けて、着実に準備を進めている。
- ⑤ 標準化の対象が社会システムなど上位のレイヤに移るトレンドの中、JTC1が取り組むテーマがISO、IEC、およびITU-Tと重複する傾向が進んでいるため、JTC1と連携テーマがあるITU-Tへの国内対応委員会を設置している(一社)情報通信技術委員会(TTC)との連絡会を継続して開催した。

(2) 健全な情報規格調査会の運営の維持

- ① 国際標準化活動への参加・貢献の割合をできる限り維持することに努めた。240 回の標準化国際会議への参加者は、延べ 922 人であった。
- ② 今年度も引き続き、本部と情報規格調査会との連絡会を開催した。情報システムの改修、予算策定など、情報共有を図りつつ運営を推進した。

(3) 広報活動とセミナーの実施

- ① 前年度に引き続き、委員会活動を広く紹介するための一般向けの広報誌としての活動報告を年 1 回発行した。
- ② 情報技術標準化フォーラム (2018年5月22日) : (一社)人工知能学会 前副会長, (株)三菱ケミカルホールディングス 浦本 直彦 氏による「人工知能の現状とその広がり」, SC 42専門委員会“人工知能”幹事, 日本電気(株) 江川 尚志 氏による「AIを巡るルール形成と標準化の概観」, およびSC 42専門委員会“人工知能”委員長(国研)産業技術総合研究所 杉村領一 氏による「JTC 1における人工知能の国際標準化動向」の3件の講演を実施した。
- ③ SC 29「画像・音声・マルチメディア符号化技術~標準化最新動向および知財動向」, および SC 41「『安心』な IoT 世界の実現に向けて」の 2 件の短期集中セミナーを実施した。

(4) 表彰

標準化関連活動への貢献を顕彰するため、標準化貢献賞等を贈呈した。詳細は付録 5 (p. 53) に掲載する。

10. 実施事業 7 : 国際活動 (定款第 4 条 1 項 5 号および 2 号)

10.1 関連する海外学協会との連携・協力

(1) International Federation for Information Processing (IFIP) 活動への参加 [所掌 : IFIP 委員会]

- ① IFIP 日本代表, 各 TC 日本代表の総会 General Assembly (GA) ・理事会 Council への参加
IFIP 総会 (9月23日~24日, ポズナン (ポーランド)) に村山 IFIP 日本代表(兼 IFIP Vice President) が参加した。
- ② 各 TC 日本代表が TC-meeting へ参加した。会誌 (3月号) への活動報告, 会議レポートの掲載のほか, メールニュース, Web を利用した情報発信を行った。
- ③ International Professional Practice Partnership (IFIP IP3) への参画 (IP3は2015年10月に正式に IFIP の組織と承認された)

(2) IEEE-Computer Society との連携・協力

- ① 2018年7月23日~27日に東京にて開催された The 42nd Annual International Computer Software & Applications Conference (COMPSAC2018) への技術協力を行った。
- ② 第81回全国大会において IEEE-CS 会長 Cecilia Metra 氏を招聘し招待講演を行った。また, この機会に IEEE-CS と当学会の情報交換を行った。
演題「Reliability Challenges for High Performance Microprocessors in the IoT Era」
- ③ 2018年6月にフェニックスで開催された IEEE-CS BoG meeting に本会副会長が参加した。
- ④ 姉妹学会 MOU を継続し, 会員向けの連携サービスを継続。
- ⑤ IEEE-CS と本会との Joint Award として, 「IPSJ/IEEE-CS Young Computer Researcher Award」2名の受賞者を決定した。授与式は次年度の IEEE-CS BoG Meeting (2019年6月6日, Goral Gables, USA) を予定している。

(3) ACM との連携・協力

- ① 第81回全国大会において、招待講演として ACM 会長 Cherri Pancakes 氏のビデオメッセージを放映した。
- ② ACM と本会との Joint Award として、「IPJSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research」1名の受賞者を決定し、第81回全国大会において表彰した。

(4) 海外学協会との連携・協力

- ① China Computer Federation (CCF) と Korean Institute of Information Scientists and Engineers (KIISE) との連携・協力
 - ・10月に中国、12月に韓国、3月に東京にて3学会によるCJK Meetingを行い交流を深めた。
 - ・10月のCCFの年次大会に参加し、本会からは開会式の来賓挨拶を行い、CJK Joint Technical Forumへ参加した。
 - ・12月のKIISEの年次大会に本会から副会長が出席し招待講演を行った。
 - ・第81回全国大会において、CCF Fellow Daoxu Chen 氏を招聘し招待講演を行った。
演題「Developing the Problem-solving Capabilities of Students in Fundamental Courses in Computer Science」
 - ・第81回全国大会において、KIISEアカデミック副会長 Eunok Paek 氏を招聘し招待講演を行った。
演題「Computer Science Meets Mass Spectrometry for Proteomics」
- ② 他の海外学会との協力関係の継続

以下の海外学会との協力関係を継続するとともに、アジアの関連学会とは中長期的な交流に向けて意見交換や相互訪問を行った。

 - ・Institute of Electrical and Electronics Engineers (IEEE)
 - ・Australian Computer Society (ACS)
 - ・SEARCC (South East Asian Regional Computer Confederation)
 - ・Computer Society of India (CSI)
- ③ The International Association for Pattern Recognition (IAPR) 活動への参加

(5) 国際会議の開催（2件）

※開催状況の詳細は付録4（p. 46）に掲載する。

11.1. その他：関連学協会等との連携および協力（定款4条1項6号）

11.1 関連学協会・日本学術会議

(1) 日本工学会および電気・情報関連学会連絡協議会への参加

日本工学会事務研究委員会への参加、電気・情報関連学会連絡協議会への参加など関連学協会の共通の問題について意見交換を行った。

(2) 研究発表・学術講習会等の共催

電子情報通信学会との共催による「情報科学技術フォーラム（FIT）」ほか、研究発表会および学術講習会において、関連学協会等と適宜共催を行った。また、土木学会、電子情報通信学会と連携し第43回土木情報学シンポジウムの開催に協力した。

(3) 日本学術会議など関連団体等への協力

日本学術会議に協力学術研究団体として協力するとともに、理学・工学系学協会連絡協議会に参加した。

11.2 会議の協賛後援等

(1) 国内会議の協賛・後援等

「平成 30 年電気学会 電力・エネルギー部門大会」（一般社団法人 電気学会主催，2018 年 9 月 12 日～14 日開催）ほか，関連学協会等の会議の協賛・後援等 114 件を行った。

(2) 国際会議の協賛・後援等

「12th International Conference on Project Management, 2018」（一般社団法人プロジェクトマネジメント学会主催，2018 年 11 月 27 日～12 月 1 日開催）ほか，関連学協会等の会議の協賛・後援等 15 件を行った。

12. 法人運営

12.1 入会促進

(1) 新規会員の獲得と会員減の防止

会員減対策として以下の施策を実施した。正会員の減少は依然継続しており，学生会員の入会も伸び悩んだものの，ジュニア会員向けの諸活動が功を奏し今年度の個人会員合計は 162 名の増加となった。

- ① ジュニア会員制度を推進し若い世代の入会促進に努めた。
- ② 各活動において学会の価値向上策に取り組むとともに，理事を中心に，新規会員の勧誘および退会防止に努めた。
- ③ 連続セミナー・ソフトウェアジャパンの開催，デジタルプラクティスの html 化など実務家・IT エンジニアに向けた活動を推進した。また，関連イベントの非会員参加者が入会する際，連続セミナー，短期集中セミナーについては，入会金を免除するよう対応したが入会希望者はなかった。なお，入会費用の無料施策により今年度は，CITP 認定者のうち 37 名（個人 3 名，企業 34 名），DP 論文賞受賞者 1 名，ソフトウェアジャパンアワード受賞者 2 名，Samurai Coding2017-18 ファイナリスト 5 名の計 45 名の無料入会があった。
- ④ 産業界に属する会員への学会価値向上に向けて検討を行った。

(2) 学生会員ならびにジュニア会員の獲得と育成

- ① ジュニア会員向け活動の活性化を図る事を目的として，ジュニア会員活性化委員会（時限）を立ち上げ，教育担当理事をはじめ関連担当理事の参画によりジュニア会員関連施策の横連携の強化を図り，ジュニア会員向けサービスの強化，ジュニア会員が学生会員や正会員として会員を継続するようなフォローに関する検討を開始した。
- ② ジュニア会員制度を通じて若年層に学会活動を広く周知するとともに，ジュニア会員向けのセミナー「Exciting Coding! Junior」（2 回），全国大会での中高生によるポスターセッション，会誌「先生，質問です!」コーナー新設，ジュニア会員の論文掲載料無料化，支部でのジュニア会員向けイベント等々の施策を行い，学生会員育成活動を推進した。
- ③ 学生・若手向けセミナーの企画開催など，学生会員の新規獲得と正会員への定着率の向上に努めた。
- ④ 研究会ならびに支部の協力により新規学生会員の獲得活動を実施し，学生会員の正会員への移行・定着の施策として 1 研究会への無料登録を継続した。
- ⑤ 学会ホームページ上でのジュニア会員向け Web ページのコンテンツを整備，リニューアルし入会メリットの訴求に努めた。

12.2 政策提言活動の推進

情報処理に対する一般社会の価値認識を高めるとともに、学会の存在感の向上を図り、国および関連機関から「頼られ&相談される学会」を目指して政策提言活動を推進した。情報系の各種パブコメ等に対しては以下のとおり3件の提言を行った。また、文部科学省からの「学協会における産学連携を推進する取組の実施状況に関するアンケート」（2018年11月）に対する協力をした。

- ・第16回未来投資会議において示された大学入学共通テストに「情報Ⅰ」の試験を入れる方針に賛同（2018年6月）
- ・「デジタルコンテンツ系専門職大学院基準（改定案）」に関する意見（2018年7月）
- ・大学入試センターに教科「情報」の問題素案提出（2018年10月）

12.3 運営体制の充実・改善等

(1) 新世代発想の学会運営への取り込み

- ① 学会イベントのニコニコ動画配信を推進し、全国大会、ソフトウェアジャパン等で多くの視聴者を集めた。
- ② 第77回全国大会から開始したIPSJ-ONEを引き続き第81回全国大会で開催した。
- ③ 2016年度に設立した、論文読み会などの資料共有を目的とした「勉強会フォーラム」を引き続き運用し、コンテンツを拡充した。
- ④ 学会イベント受付のオンライン化の試行を研究会にて行った。
- ⑤ ジュニア会員向けWebページのリニューアル、会誌記事「先生、質問です!」の連載開始などジュニア会員サービスの企画を進め、ジュニア会員に対する魅力の向上に対する取り組みを行った。
- ⑥ ジュニア会員入会促進策として、中高生向けにサービスを展開している企業と連携し、入会が見込めそうな中高生層に向けて広報への協力を頂いた。

(2) 長期的ビジョンの継続体制の確立

長期戦略理事を中心に、中長期戦略提言に向けた検討報告書とこれまでの議論について再確認するとともに、今後に向けた検討の方向性についての議論を深めた。具体的な方向性については、本会のイベント参加状況等の分析を進めることで会員および非会員の本会に対するニーズをまずは把握して行く計画案で検討を進めた。

(3) アドバイザリーボードによる運営改善

「魅力ある学会」に向け、学会活動に関する中長期計画を踏まえつつ、第三者機関であるアドバイザリーボードミーティングを2018年7月に開催し、ボードメンバーからの助言を実施事業の企画および運営の改善に役立てた。

(4) 広報活動の推進・諸活動のデータ収集

- ① 学会Webの充実の他、Facebook、TwitterならびにApp Storeへの会誌とデジタルプラクティスの掲載、情報処理学会公式ニコニコチャンネルなどソーシャルメディアを活用した積極的な広報活動を推進した。
- ② 各種行事等の場での入会促進および学会紹介、IPSJメールニュースの内容充実を図った。
- ③ 会員の入退会、大会・セミナー等への投稿・申込み状況、会誌等のモニタ会員による評価など、関連データの収集・分析を継続し諸活動の評価・改善に努めた。

(5) 会員サービスの充実にに向けた学会情報システムの見直し

今年度は、学会システムリニューアルの開発を進め、2018年9月より運用を開始した。合わせて支部Webサイト（関西・九州）の移設を行った。

(6) 2017 年度監事付帯意見への対応

2017 年度監事付帯意見（2018 年 6 月開催の第 627 回理事会に監事が提出）について、改善策の検討ならびに学会運営および中長期計画への反映などの対応を実施し、結果を 635 回理事会（2019 年 4 月）で報告した。監事付帯意見は、複数の事業を会員サービスの観点でまとめた収支バランスの見直し、ジュニア会員の継続的獲得と他の事業による回収の 2 項目からなり、前者については、監事付帯意見に挙げられた産業界向けの会員サービスとしてまとめる事業と赤字の縮小に関する検討を行い、特にデジタルプラクティスについては次年度に体制を作り対策を行うこととした。また学会の財務モデルの転換も中長期的課題に含めて継続的に検討を進めることとした。また後者については、ジュニア会員向け web ページを整備するとともに、新たに「ジュニア会員活性化委員会」を発足させ、大会で中高生ポスターセッションを実施するなどジュニア会員向けサービスの充実を図り、会員数増加に努めた。ジュニア会員向けサービスに関する費用対効果（学生会員への移行など）の指標を含めて検討を進めることとした。

(7) 著作権関連 [所掌：著作権委員会]

著作権の利用許諾に関する対応などを行った。また、学術著作権協会との契約更新を行った。

(8) 参加しやすい総会を目指した取り組み [所掌：総務財務運営委員会]

普段交流の少ない賛助会員にも学会活動に親しんでもらうことを目指し、2018 年 6 月の総会において講演会（「量子コンピュータ研究開発の現状と将来」、「東北から「未来型医療」を先導する」）や交流会の実施、本会コンピュータ博物館の歴史遺産の一つである「自己相関係数計算機」の展示を行い 24 社のご参加を頂いた。また、歴代会長の懇談会を行い、学会に関する意見交換を行った。

(9) ダイバーシティへの取り組み [所掌：Info-WorkPlace 委員会]

- ① 委員会の目的を女性支援から多様な人が一緒に活躍できる場を実現する方向へと転換した。
- ② 多様性を支援するネットワークをつくる目的のメーリングリストを開設した。
- ③ 第 81 回全国大会でイベント企画「来たれ！ワークライフバランス伝道師」を実施した。
- ④ 第 81 回全国大会の会期中に近隣の中学校で出前授業を行った。
- ⑤ イベント、ワークショップ等の共催・後援等
 - ・2018 年 6 月「Cordertreat for Girls #2」協力（enPiT 女性部会 WiT 主催）

12.4 その他表彰等

(1) 顕彰、名誉会員・フェローの選定など

功績賞、学会活動貢献賞の贈呈のほか、フェロー認定、情報処理技術遺産認定を行った。詳細は付録 5（p. 49, p. 52）に掲載する。

(2) 学会運営サポート

健全な法人運営のために、監査法人のほか弁護士、税理士、社労士との顧問契約を継続している。

(3) 事務局職員

事務局常勤職員の年度末在籍者は 28 名（本部 21 名、規格 7 名、前年末は 28 名）である。

以上

[illegible]

[illegible]

	9. 情報規格調査会委員の変更〔標準化〕 <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2018年7月期開催会議〔総務〕 2. 2018年7月月次損益管理表〔財務〕 3. 2019年度役員・代表会員選挙日程〔総務〕 4. 理事の辞任について〔総務〕 5. 公益財団法人大学基準協会からのパブリックコメント「デジタルコンテンツ系専門職大学院基準（改定案）」に対する意見提出についてご報告〔総務〕 6. 第39・40回新世代企画委員会議事録〔新世代〕 7. 第18回デジタルコンテンツ事業検討委員会議事録〔総務〕 8. 第73回学会システムWG議事録〔総務〕 9. 学会システムMonthly統計資料（2018年7月分）〔総務〕 10. 会誌広告状況（2018年8月現在）〔会誌〕 11. 就職情報案内の付録掲載について〔会誌〕 12. 理事からのメッセージ（2018年8月）〔会誌〕 13. 各領域委員会報告（議事録抜粋）〔調査研究〕 14. 第21回ソフトウェアジャパンプログラム委員会議事録〔技術応用〕 15. 第97回デジタルプラクティス編集委員会議事録〔技術応用〕 16. 第49・50回個人認証審査委員会議事録〔技術応用〕 17. 第62回プログラミングコンテスト委員会議事録〔事業〕 18. 情報処理教育委員会（2018/7/17開催-2018第1回）議事録〔教育〕	確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2018年9月21日（監事確認日） 議決可能理事数：全議案とも26名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> 1. 2018年8月の新規入会申請〔総務〕 2. 2019年度代表会員理事会推薦候補者（1次案）について〔総務〕 3. 2018年度シニア会員申請者の承認について〔総務〕 4. IPSJ/ACM Award for Early Career Contribution to Global Research 2019年度候補者募集開始の承認願ひ〔企画〕 5. シンポジウム等の開催願ひ〔調査研究〕 6. 資格制度運営委員会委員長交代について〔技術応用〕 7. 国内会議の協賛・後援等依頼〔事業〕 8. 国際会議の協賛・後援等依頼〔事業〕 9. 情報規格調査会委員の変更〔標準化〕 <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2018年8月期開催会議〔総務〕 2. 2018年8月月次損益管理表〔財務〕 3. 2018年度功績賞ならびに顕功賞・業績賞選定手続きについて〔総務〕 4. 学会システムMonthly統計資料（2018年8月分）〔総務〕 5. 新会員システムサービス開始のご報告〔総務〕 6. 第235回会誌編集委員会議事録、会誌特集一覧ほか〔会誌〕 7. 第110回歴史特別委員会議事録〔会誌〕 8. 第63回情報処理学会教科書編集委員会議事録〔会誌〕 9. 第452回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会（幹事会）議事録（抜粋）〔論文誌〕 10. 第50回セミナー推進委員会議事録〔技術応用〕 11. 第17回ソフトウェアジャパン実行委員会議事録〔技術応用〕 12. 第44回資格制度運営委員会議事録〔技術応用〕 13. 第51回個人認証審査委員会議事録〔技術応用〕 14. 第44回企業認定審査委員会議事録〔技術応用〕 15. 第66回電気科学技術奨励賞の結果報告〔技術応用〕 16. 無料トライアル施策の中止について（報告）〔事業・技術応用〕 17. 第2回 第81回全国大会プログラム委員会議事録〔事業〕 18. FIT2019船井業績賞選定委員会議事メモ〔事業〕 19. 第63回プログラミングコンテスト委員会議事録〔事業〕 20. 第357回規格役員会議事録〔標準化〕	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認
第631回理事会 2018年9月26日 議長：西尾章治郎（会長） 議決可能理事数：全議案とも26名 出席理事数：23名	<承認事項> 1. 創立60周年記念事業関係（創立60周年記念実行委員会）〔総務〕 (1)各記念事業等の検討状況報告 2. 理事会推薦次期会長候補者〔総務〕 3. サマータイト導入に関する意見表明の検討について〔企画〕 4. Info-WorkPlace委員会規程の改訂について〔総務〕 5. IWSEC2017国際会議終了報告〔調査研究〕 6. ソフトウェアジャパン2019共催について（お願い）〔技術応用〕 7. 2018年度「ソフトウェアジャパンアワード」について〔技術応用〕 8. 2018年台風21号ならびに北海道胆振東部地震について〔総務〕 <審議事項> 1. 2017年度監事付帯意見への対応状況〔企画〕	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認

	<報告事項> 1. 法令・定款による理事の職務執行状況報告（6月～8月）〔総務〕 2. 2018年度会員状況（2018年8月現在）※同9月web理事会提出〔総務〕 3. 第172回総務財務運営委員会議事録〔総務〕 4. 2018年度第5回企画政策委員会議事録〔企画〕 5. ジュニア会員向け関連施策調査状況報告〔企画〕 6. 第6期アドバイザリーボード（第1回）議事録〔企画〕 7. 中長期戦略について〔企画〕 8. 会誌広告状況（2018年9月現在）〔会誌〕 9. ジャーナル・JIP特集／トランザクション発行状況〔論文誌〕 10. ソフトウェアジャパン2019開催趣意書・スポンサー募集〔技術応用〕 11. デジタルプラクティス：ダウンロード数、アンケート〔技術応用〕 12. 全国大会でのスポンサーメニュー「ジョブエクスプローラー」追加について〔事業〕 13. 第81回全国大会スポンサー・出展募集のご案内について〔事業〕 14. SamuraiCoding2018-19スポンサー募集〔事業〕 参. 理事会アクションアイテムリスト	確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認 確認
決議の省略・報告の省略 2018年10月24日（監事確認日） 議決可能理事数：全議案とも26名	<法令および定款により理事会決議があったものとする事項> 1. 2018年9月の新規入会申請〔総務〕 2. 事務局人件費について〔総務〕 3. シンポジウム等の開催願い〔調査研究〕 4. 国内会議の協賛・後援等依頼〔事業〕 5. 国際会議の協賛・後援等依頼〔事業〕 <法令および定款により理事会報告があったものとする事項> 1. 2018年9月期開催会議〔総務〕 2. 2018年9月月次損益管理表〔総務〕 3. 期中会計監査報告（2018年10月）〔総務〕 4. 2018年度支部長会議議事録〔総務〕 5. 2019年度役員候補者推薦状況報告〔総務〕 6. サイトライセンス申込み状況報告〔総務〕 7. 外部の賞に関する候補者推薦について（ご報告）〔総務〕 8. 学会システムMonthly統計資料（2018年9月分）〔総務〕 8. 会誌広告状況（2018年10月現在）〔会誌〕 9. 理事会からのメッセージ（2018年10月）〔会誌〕 10. 第111回歴史特別委員会議事録〔会誌〕 11. 第64回情報処理学会教科書編集委員会議事録〔会誌〕 12. 研究会の継続について〔調査研究〕 13. 2019年度研究会登録費の算定について〔調査研究〕 14. 第453回論文誌ジャーナル/JIP編集委員会（幹事会）議事録（抜粋）〔論文誌〕 15. 第51回セミナー推進委員会議事録〔技術応用〕 16. 第98回デジタルプラクティス編集委員会議事録〔技術応用〕 17. 第45回資格制度運営委員会議事録〔技術応用〕 18. 第52回個人認証審査委員会議事録〔技術応用〕 19. 第45回企業認定審査委員会議事録〔技術応用〕 20. 2018年度第1回全国大会組織委員会議事録〔事業〕 21. 第64回プログラミングコンテスト委員会議事録〔事業〕	承認 承認 承認 承認 承認 確認
第632回理事会 2018年11月14日 議長：西尾 章治郎（会長） 議決可能理事数：全議案とも26名 出席理事数：18名	<承認事項> 1. 創立60周年記念事業関係（創立60周年記念実行委員会）〔総務〕 (1) 記念事業進捗・暫定予算 (2) 各記念事業の検討状況報告 2. 2019年度理事会推薦役員候補者立候補依頼順位〔総務〕 3. 研究倫理審査申請書〔総務〕 4. アドバイザリーボードメンバーの交代について〔企画〕 5. ジュニア会員向け活動について（推進体制について）〔企画〕 6. 2018年度情報処理技術遺産認定候補リスト〔会誌〕 7. 調査研究に関する規程（抜粋）改定案〔調査研究〕 8. 平成30年度技術者教育プログラム認定審査業務契約書（案）〔教育〕 <審議事項> 1. 企画政策委員会関係〔企画〕 (1) 12月役員検討会のテーマ・次第 (2) 2017年度監事付帯意見への対応状況 2. 2019年度予算編成方針/2019年度事業計画・予算・2018年度事業報告提出依頼〔総務・財務〕 <報告事項> 1. 新名誉会員・学会活動貢献賞ほか：推薦のお願い〔総務〕 2. 第173・174回総務財務運営委員会議事録〔総務〕 3. 2018年度第6・7回企画政策委員会議事録〔総務〕	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 確認 確認 確認

[illegible]

[illegible]

[illegible]

議長：西尾 章治郎（会長）	3. HPCAsia2020国際会議開催申請書〔調査研究〕	承認
議決可能理事数：全議案とも26名	4. 連続セミナー2019企画案〔技術応用〕	承認
出席理事数：22名	5. 2018年度中高生情報研究コンテストからの若手奨励賞受賞候補者について〔教育〕	承認
	<審議事項>	
	1. 企画政策委員会関係〔企画〕	
	2017年度監事付帯意見への対応状況：最終確認	確認
	2. 事業計画・予算ほか	
	(1) 2019年度事業計画（2次）・2018年度報告（3月現在）〔各理事〕	承認
	(2) 2019年度予算（2次）・2018年度決算見込（3月現在）〔財務〕	承認
	<報告事項>	
	1. 2019年度役員・代表会員選挙結果〔総務〕	確認
	2. 定時総会までのスケジュール〔総務〕	確認
	3. 法令・定款による理事の職務執行状況（12月～2月）〔総務〕	確認
	4. 第178回総務財務運営委員会議事録〔総務〕	確認
	5. 2018年度第11回企画政策委員会議事録〔企画〕	確認
	6. 2018年度会員状況（2019年2月現在）※3月Web理事会提出〔総務〕	確認
	7. 会誌広告状況（2019年3月現在）〔会誌〕	確認
	8. ジャーナル・JIP・トランザクション発行状況〔論文誌〕	確認
	9. デジタルプラクティス：ダウンロード数状況〔技術応用〕	確認
	参. 理事会アクションアイテムリスト	確認

■各種委員会

※委員は6月以降の構成を掲載（以下、同）

◎委員長・主査、○副委員長・財務委員、幹事・副査、△担当理事（担務）、*オブザーバ、アドバイザー委員

1. 法人運営

1.1 企画政策委員会

◎/△浅井光太郎、○/△岡部寿男、大内一成、重野 寛、関口智嗣、富士 仁、美馬のゆり、屋代智之、川原圭博、倉本 到、栗原英俊、佐藤真一、高橋克巳、田島 玲、寺田 努、並木美太郎、平井規郎

[4月24日、5月28日、6月18日、7月11日、9月5日、10月16日、11月9日、12月7日、'19年1月22日、2月27日、3月19日]

監事付帯意見対応／アドバイザーボード対応／中長期戦略に関する検討／会員サービスに関する検討ほか

1.1.1 学会システムWG

◎富士 仁、赤池洋俊、石井 旬、今岡 仁、岩崎正明、大谷裕紀、大森久美子、河口信夫、*柴田直樹、城間祐輝、鈴木 浩、*寺田 努、鳥居 悟、*中津佳彦、*栗原英俊

[5月16日、7月4日、'19年1月21日]

学会管理システムに関する検討対応

1.2 政策提言委員会

◎/△岡部寿男、○/△寺田 努、大内一成、倉本 到、関口智嗣、高橋克巳、並木美太郎、富士 仁、屋代智之

[電子メールベース] バブコメ対応 ほか

1.3 総務財務運営委員会（倫理委員会）

◎/△浅井光太郎、○/△大内一成、○/△富士 仁、△平井規郎、△栗原英俊、△関口智嗣、△高橋克巳

[4月24日、5月28日、6月18日、7月11日、9月5日、10月16日、11月9日、12月7日、'19年1月22日、2月27日、3月19日]

総会関連事項／損益状況／研究倫理対応／その他運営上の諸課題の検討対応

1.3.1 本部・規格連絡会

◎浅井光太郎、○/△伊藤 智、○富士 仁、△栗原英俊、大内一成、平井規郎、○関 喜一、東 充宏、伊藤雅樹、落合真一、河合和哉、成井良久、山本英朗

[12月18日] 本部・規格調査会間の連絡

1.3.2 研究倫理小委員会

◎浅井光太郎、○岡部寿男、大内一成、栗原英俊、佐藤真一、谷口倫一郎、並木美太郎、平井規郎、富士 仁、湊 真一、美馬のゆり、屋代智之

[11月9日] 人を直接対象とした生体計測及び行動科学的研究に係る研究倫理審査

1.4 情報システム委員会（電子化委員会より名称変更）

◎富士 仁、○栗原英俊、大内一成、菊池浩明、平井規郎

[3月7日] 情報システムに関する諸対応

1.4.1 セキュリティ委員会

◎菊池浩明、△大内一成、大谷和子、岡本栄司、佐々木良一、寺田真敏、鳥居 悟、△平井規郎、丸山 宏

[電子メールベース] 情報セキュリティに関する諸対応

1.5 新世代企画委員会

◎重野 寛、○川原圭博、△荒木 拓也、五十嵐悠紀、石塚宏紀、△大内一成、△河内谷清久仁、樺 惇志、五味悠一郎、△後藤厚宏、坂本一憲、△関口智嗣、△高橋克巳、土井裕介、△富士 仁、△坊農真弓、△屋代智之、米澤拓郎

[4月24日、5月28日、6月29日、7月19日、9月14日、10月16日、11月9日、12月18日、'19年1月22日、2月27日]

新世代（学生・若手研究者・若手技術者）の発想を学会運営に取り込むための施策を検討、実施

1.6 Info-WorkPlace委員会

◎木塚あゆみ、△坊農真弓、荒木拓也、伊東 香、大場みち子、加藤由花、河内谷清久仁、楠 房子、倉本 到、小山清美、佐藤真一、田島 玲、土田 栞、永瀬美穂、中野美由紀、並木美太郎、美馬のゆり、屋代智之、渡辺知恵美

[5月24日、7月30日、10月31日、'19年1月22日] ダイバーシティ社会を活性化するための施策を検討、実施

1.7 ジュニア会員活性化委員会（時限）

◎美馬のゆり、○佐藤真一、荒木拓也、河内谷清久仁、川原圭博、楠 房子、重野 寛、田島 玲、寺田 努、中野美由紀、坊農真弓、高岡詠子、伊藤一成、杉田由美子、吉田 葵、北村操代、兼宗 進、和田 勉

[12月17日、'19年2月27日] ジュニア会員向け活動の活性化

1.8 支部長会議

◎/△西尾章治郎、△浅井光太郎、△岡部寿男、△大内一成、△富士 仁、△平井規郎、△栗原英俊、各支部長：棟朝雅晴（北海道）、大町真一郎（東北）、村瀬 洋（東海）、山根 智（北陸）、吉川正俊（関西）、金田和文（中国）、高橋 寛（四国）、富浦洋一（九州）

[9月26日、12月18日（役員検討会）] 本部-支部の意見交換

1.9 アドバイザリーボード

◎中村道治、荒川 薫、有川節夫、井上友二、牛田圭一、大竹 暁、小原 格、澁谷裕以、辻 篤子、永井良三

[7月3日] 第三者的な見地からの情報処理学会の運営に関する助言

2. 調査研究活動

2.1 調査研究運営委員会

◎/△屋代智之、○/△倉本 到、○/△並木美太郎、石川佳治、小林 稔、酒井哲也、西垣正勝、西田知博、森嶋厚行

開催年月日	主な議事事項	会議結果
2018年6月26日	1. 2018年度委員構成確認 2. 2019年度調査研究活動への学会補助額について 3. 2019年度共通費の賦課について 4. 2019年度シンポジウム事務諸費について 5. 調査研究に関する規程の改訂 6. 研究会・研究グループの所属体制について	確認 承認⇒ 各領域・研究会に提案 承認⇒ 各領域・研究会に提案 承認⇒ 各領域・研究会に提案 承認⇒ 各領域・研究会に提案 承認⇒ 各領域・研究会に提案 確認・継続審議
2018年10月17日 (調研・3領域合同)	1. 2019年度研究会登録費算定方法 2. 研究グループの所属体制について 3. 研究会の継続	承認⇒ 理事会報告 承認⇒ 理事会提案 確認⇒ 理事会報告
2019年3月18日	1. 研究グループの新設について 2. 学会間の相互協力に関する覚書について 3. 情報保障への補助について 4. 研究会積立資産の利用について 5. 60年のあゆみについて 6. 2018年度活動状況/2019年度計画 7. 監事付帯意見への対応状況/事業報告/事業計画 8. 第32回IFIP委員会報告	承認⇒ 理事会報告 審議 承認 承認 確認 確認 確認 確認

2.2 コンピュータサイエンス領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

◎/△並木美太郎、○森嶋厚行、井上弘士、岩下武史、光来健一、庄野 逸、瀧本英二、田宮 豊、西田直樹、丸山勝久、吉川正俊、渡辺晴美

2018年7月26日	領域共通-1. 2018年度山下記念研究賞 領域共通-2. 2019年度調査研究活動への学会補助額について 領域共通-3. 2019年度共通費の賦課について 領域共通-4. 2019年度シンポジウム事務諸費について 領域共通-5. 調査研究に関する規程の改訂 領域共通-6. 研究会・研究グループの所属体制について 領域共通-7. 2017年度調査研究活動状況および決算報告	選定⇒ 理事会提案 承認 承認 承認 承認⇒ 理事会提案 確認・継続審議 確認
2018年10月17日 (調研・3領域合同)	調査研究運営委員会に同じ。	
2019年2月19日	領域共通-1. 2019年度領域委員長・財務委員について 領域共通-2. 60年のあゆみについて 領域共通-3. 2018年度活動状況/2019年度計画 領域共通-4. 監事付帯意見への対応状況/事業報告/事業計画 領域共通-5. 第32回IFIP委員会報告	確認・承認 確認 確認 確認 確認

2.3 情報環境領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

◎/△屋代智之、○西垣正勝、河口信夫、木全英明、木村朝子、児玉公信、斎藤典明、重野 寛、田上敦士、寺島美昭、寺田 努、寺田真敏、寺田雅之、藤井 敦、松浦 博、水野慎士、宮下健輔、守島 浩

[7月19日、10月17日(調研・3領域合同)、『19年2月20日] コンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

2.4 メディア知能情報領域委員会（山下記念研究賞選定委員会を兼ねる）

◎/△倉本 到、○西田知博、井村誠孝、緒方広明、兼宗 進、川村秀憲、関根 聡、鶴岡慶雅、土橋宜典、長原 一、西村雅史、原田要之助、馬場哲晃、山田太造、吉井和佳、吉本潤一郎

[7月18日、10月17日(調研・3領域合同)、『19年2月15日] コンピュータサイエンス領域委員会の領域共通事項に同じ。

3. 人材育成活動

3.1 資格制度運営委員会 ※傘下のWGは掲載略

◎西 直樹、○吉野松樹、△荒木拓也、△田島 玲、折原良平、掛下哲郎、笈 捷彦、玉井哲雄、林 雅弘、旭 寛治

[4月23日、5月22日、6月19日、8月31日、9月28日、11月1日、12月26日、1月24日、2月12日、3月19日]

認定情報技術者制度の検討

3.2 情報処理教育委員会（教育賞選定委員会を兼ねる） ※傘下の委員会は掲載略

◎萩谷昌己、○佐渡一広、○辰己丈夫、○高橋尚子、△美馬のゆり、△佐藤真一、稲垣知宏、植原啓介、上松恵理子、大岩 元、角田博保、掛下哲郎、笈 捷彦、金寺 登、兼宗 進、久野 靖、児玉公信、斎藤俊則、高岡詠子、富澤真樹、長尾和彦、中谷多哉子、中山泰一、松澤芳昭、和田 勉、*神沼靖子、*鷺崎弘宜

[4月24日、5月23日、7月17日、9月27日、12月6日、『19年2月8日、3月12日]

JABEE対応/J17準備/情報学分野の参照基準/次期学習指導要領改訂/免許更新講習/傘下の小委員会報告ほか

4. 事業活動

4.1 事業運営委員会

◎/△河内谷清久仁、○/△中野美由紀、倉本 到

[電子メールベース] 全国大会、FIT、その他イベントの運営推進

4.2 全国大会組織委員会 ※プログラム委員会、現地実行委員会は掲載略

◎/△岡部寿男、○/△河内谷清久仁、△中野美由紀、屋代智之、鶴林尚靖

[9月13日、12月11日、ほか電子メールベース] 全国大会の運営・開催推進

4.3 FIT運営委員会 ※情報科学技術推進委員会・幹事会・実行委員会・プログラム委員会は掲載略

◎相澤清晴、○浅井光太郎、○岡部寿男、△中野美由紀、屋代智之、前田英作、柏野邦夫、相田仁、新井田統、△河内谷清久仁、並木美太郎、小池崇文、宇都木契、富森英樹、松高靖、青木良輔

[7月9日、11月9日、12月17日、ほか電子メールベース] FITの運営・開催推進

4.4 プログラミング・シンポジウム幹事会 ※運営委員会は掲載略

◎横山大作、浅野智之、上田真史、馬谷誠二、大日向大地、新屋良磨、対馬かなえ

[5月30日、10月17日、12月20日、『19年2月20日] 夏のプロシン/若手の会/冬のプロシンの開催推進

4.5 プログラミングコンテスト委員会

◎平石 拓、*鷺崎弘宜、△河内谷清久仁、△寺田 努、近山 隆、深澤紀子、坂本一憲、高田真吾、田中哲朗、小林祐樹、鈴木浩、三輪 誠、横山大作

[6月15日、7月20日、8月27日、10月12日、11月5日、12月3日、『19年1月7日、2月14日、3月19日]

プログラミングコンテストの開催推進

4.6 技術応用運営委員会

◎寺中勝美、○浅井光太郎、○/△荒木拓也、○/△田島 玲、平井規郎、栗原英俊、寺田 努、吉野松樹、旭 寛治、西 直樹

[7月9日、12月3日、『19年3月27日] ほか電子メールベース] 技術応用活動全体の調整・推進

4.7 ITプロフェッショナル委員会（高度IT資格関連WGの活動により休眠）

4.8 セミナー推進委員会

◎/△荒木拓也、○/△田島玲、北村操代、那須川哲哉、齋藤正史、浦本直彦、中野美由紀、杉田由美子、平山敏弘、海老澤竜、福島俊一、伊藤一成、楠 房子、青木秀一、吉田 葵

[4月6日、5月11日、6月11日、7月13日、9月3日、10月11日、11月20日、12月19日、'19年1月30日、2月26日、3月29日]

連続セミナー・短期集中セミナーの開催推進

4.9 ITフォーラム推進委員会 ※ソフトウェアジャパン関連委員会は掲載略

◎/△荒木拓也、○/△田島 玲、諏訪良武、萩川友宏、河合 洋、平林元明、河口信夫

['19年3月27日 ほかに電子メールベース] ITフォーラム・ソフトウェアジャパンの運営推進

5. 会誌

5.1 会誌編集委員会

◎稲見昌彦、○大山恵弘、○加藤由花、○中田眞城子、△坊農真弓、△楠 房子、井本和範、江渡浩一郎、大石康智、大川徳之、太田智美、川上 玲、佐藤史子、城島貴弘、末永俊一郎、須川賢洋、田名部元成、鳥澤健太郎、福地健太郎、水野加寿代、茂木和彦、湯村 翼、中川香織、坂東宏和、細野 繁、福田茂紀、加藤弘之

[4月12日、5月14日、6月18日、7月18日、9月3日、10月22日、11月19日、12月17日、'19年1月7日、2月18日、3月4日]

全回共通：会誌の編集刊行

6. 機関誌／出版活動

6.1 学会論文誌運営委員会

◎/△谷口倫一郎、△屋代智之、△倉本 到、△並木美太郎、△湊 真一

[電子メールベース] 論文誌全体に関する諸課題の対応

6.2 JIP編集委員会（幹事会）

◎柴山悦哉、○/△谷口倫一郎、ほか「6.3 ジャーナル編集委員会（幹事会）」メンバ

*Adam KOZYNIAK、*Monica CARLY、*Robert DELANEY、*Sylvain KAMDEM

[海外編集委員] Audun JOSANG（ノルウェー）、Jungsuk SONG（韓国）、M.M. Hafizur Rahman（マレーシア）

[4月4日、5月9-10日、6月8日、7月10日、9月7日、10月2日、11月7日、12月4日、'19年1月15日、2月5日、3月5日]

全回共通：JIPの編集刊行

6.3 論文誌ジャーナル編集委員会（幹事会）

◎中山泰一、○/△湊 真一、○田中勇樹、○島岡政基、○松島裕康、○渡辺博芳、市野将嗣、大平雅雄、片山 薫、中嶋秀治、野呂正明、波多野大督、真鍋宏幸、末代誠仁

[4月4日、5月9-10日、6月8日、7月10日、9月7日、10月2日、11月7日、12月4日、'19年1月15日、2月5日、3月5日]

全回共通：論文誌ジャーナルの編集刊行

6.4 トランザクション編集会議

◎/△谷口倫一郎、柴山悦哉、井上智雄、岡部寿男、小口正人、北 栄輔、五島正裕、斎藤英雄、竹中要一、戸川 望、西田知博、西田直樹、野本忠司、森嶋厚行

[11月7日] トランザクションの編集刊行に関する諸課題の対応

6.5 デジタルプラクティス編集委員会

◎吉野松樹、○茂木 強、△荒木拓也、△田島 玲、栗津正輝、飯村結香子、石黒剛大、今原修一郎、大嶋嘉人、鬼塚 真、上條浩一、斎藤彰宏、澤谷由里子、澤邊知子、新田 清、濱崎雅弘、平井千秋、平林元明、福島俊一、藤瀬哲朗、細野 繁 *喜連川優

[4月27日、5月24日、6月28日、8月2日、9月27日、10月25日、11月22日、12月20日、'19年1月24日、2月28日、3月27日]

全回共通：デジタルプラクティスの編集刊行

6.6 デジタルコンテンツ事業検討委員会

◎/△岡部寿男、○大内 一成、安達 淳、△荒木拓也、△河内谷清久仁、△倉本 到、△谷口倫一郎、△ 富士 仁、△ 坊農真弓、水野慎士

[7月11日] デジタルコンテンツ事業の推進

6.7 出版委員会

6.7.1 教科書編集委員会

◎阪田史郎、○菊池浩明、△坊農真弓、△楠 房子、井戸上彰、駒谷昇一、辰巳丈夫、田名部元成、中島 毅、沼尾雅之、平山雅之、山本里枝子

[4月2日、7月2日、10月1日、12月25日、'19年3月29日] 教科書シリーズの刊行に関する検討

6.8 歴史特別委員会（傘下の小委員会は掲載略）

◎発田 弘、○旭 寛治、△坊農真弓、△楠 房子、宇田 理、浦城恒雄、久門耕一、橋爪宏達、前島正裕、松永俊雄

[6月6日、8月29日、10月10日、1月16日]

コンピュータに関する歴史の公開推進、情報処理技術遺産等の認定ほか

6.9 著作権委員会

◎/△坊農真弓、○/△楠 房子、天野真家、荒木拓也、大谷和子、大内一成、倉本 到、杉本重雄、谷口倫一郎、並木美太郎、湊 真一、屋代智之

['19年1月18日、ほか電子メールベース] 知的財産権専門委員推薦、その他著作権に関する対応

7. 標準化活動

7.1 情報規格調査会（規格役員会）

◎/△伊藤 智、○河合和哉、○関 喜一、△栗原英俊、東 充宏、伊藤雅樹、落合真一、成井良久、山本英朗、*中野宏和

[4月17日、5月15日、6月12日、7月10日、9月11日、10月23日、11月20日、12月20日、'19年1月15日、2月12日、3月12日]

規格賛助員の入退会等／委員変更／国際会議派遣・招致／月次決算／JTC1総会対応／標準化関連受託対応ほか

8. 国際活動

8.1 IFIP委員会

☆村山優子（IFIP日本代表）、◎/△屋代智之、○/△倉本 到、○/△並木美太郎、廣川 直、五十嵐淳、齋藤俊則、中野 冠、相田 仁、亀田壽夫、内木哲也、小向太郎、金川信康、栗原 聡、北村喜文、星野准一、芝田 晃（～2018.8）、掛下哲郎（2018.9～）

[11月1日] IFIP年次総会報告／各TCの活動報告ほか。

9. 上記以外の委員会および委員は次サイトを参照

<https://www.ipsj.or.jp/annai/committee/meibo/2018meibo.html>

付2. 研究会および研究発表・学術講習会等一覧

[研究会等の詳細]

研究会等の名称（（ ）内：英略称、*：研究グループ）	主査名（運営委員数）	登録者数
[コンピュータサイエンス領域]		
データベースシステム（DBS）	吉川正俊（47）	413
ソフトウェア工学（SE）	丸山勝久（40）	467
システム・アーキテクチャ（ARC）	井上弘士（28）	294
システムソフトウェアとオペレーティング・システム（OS）	光来健一（32）	241
システムとLSIの設計技術（SLDM）	田宮 豊（29）	249
ハイパフォーマンスコンピューティング（HPC）	岩下武史（38）	493
プログラミング（PRO）	西田直樹（27）	302
アルゴリズム（AL）	瀧本英二（23）	191
数値モデル化と問題解決（MPS）	庄野 逸（26）	274
組込みシステム（EMB）	渡辺晴美（27）	235
[情報環境領域]		
マルチメディア通信と分散処理（DPS）	田上敦士（45）	313
ヒューマンコンピュータインタラクション（HCI）	木村朝子（42）	445
情報システムと社会環境（IS）	児玉公信（21）	181
情報基礎とアクセス技術（IFAT）	藤井 敦（9）	135
オーディオビジュアル複合情報処理（AVM）	木全英明（12）	63
グループウェアとネットワークサービス（GN）	斉藤典明（32）	213
ドキュメントコミュニケーション（DC）	守島 浩（9）	69
モバイルコンピューティングとパーベシブシステム（MBL）	河口信夫（45）	265
コンピュータセキュリティ（CSEC）	寺田雅之（47）	589
高度交通システムとスマートコミュニティ（ITS）	重野 寛（28）	153
ユビキタスコンピューティングシステム（UBI）	寺田 努（31）	253
インターネットと運用技術（IOT）	宮下健輔（44）	404
セキュリティ心理学とトラスト（SPT）	寺田真敏（18）	98
コンシューマ・デバイス&システム（CDS）	寺島美昭（45）	197
デジタルコンテンツクリエイション（DCC）	水野慎士（20）	90
高齢社会デザイン（ASD）	松浦 博（36）	96
[メディア知能情報領域]		
自然言語処理（NL）	関根 聡（31）	473
知能システム（ICS）	川村秀憲（6）	208
コンピュータビジョンとイメージメディア（CVIM）	長原 一（61）	549
コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学（CG）	土橋宜典（28）	243
コンピュータと教育（CE）	兼宗 進（44）	532
人文科学とコンピュータ（CH）	山田太造（26）	214
音楽情報科学（MUS）	吉井和佳（29）	308
音声言語情報処理（SLP）	西村雅史（26）	207
電子化知的財産・社会基盤（EIP）	原田要之助（18）	104
ゲーム情報学（GI）	鶴岡慶雅（25）	216
エンタテインメントコンピューティング（EC）	井村誠孝（20）	181
バイオ情報学（BIO）	吉本潤一郎（14）	110
教育学習支援情報システム（CLE）	緒方広明（22）	195
アクセシビリティ（AAG）	馬場哲晃（16）	65
*ネットワーク生態学（NE）	鳥海不二夫（--）	---
*会員の力を社会につなげる（SSR）	筑 捷彦（--）	---
*情報処理に関する法的問題（LIP）	高岡詠子（--）	---
*ビッグデータ解析のビジネス実務利活用（PBD）	石井一夫（--）	---

1. 研究発表会（調査研究活動分）

1.1 コンピュータサイエンス領域

1.1.1 データベースシステム研究発表会

回次	開催年月	場所	発表件数	参加者数	共催団体、その他備考
第167回	2018年9月12日～14日	東京工業大学	32	352	電子情報通信学会
第168回	2018年12月21日～22日	国立情報学研究所	14	53	電子情報通信学会

1.1.2 ソフトウェア工学研究発表会

第199回	2018年7月18日～20日	帯広市とかちプラザ	31	73	電子情報通信学会
第200回	2018年12月3日	奈良商工会議所	11	35	
第201回	2019年3月7日～8日	化学会館	19	66	

1.1.3 システム・アーキテクチャ研究発表会

第223回	2018年6月14日～15日	蔵王温泉たかみや瑠璃リゾート	22	35	電子情報通信学会
第224回	2018年7月30日～8月1日	熊本市国際交流会館	33	65	電子情報通信学会
第225回	2018年12月5日～7日	サライトキャンプひろしま	14	117	電子情報通信学会
第226回	2019年1月30日～31日	慶應義塾大学日吉キャンパス	22	101	電子情報通信学会
第227回	2019年3月17日～18日	西之表市民会館	55	85	電子情報通信学会

1.1.4 システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究発表会

第143回	2018年5月21日～22日	ホテルモントレ沖縄スパ&リゾート	15	39	
第144回	2018年7月30日～31日	熊本市国際交流会館	16	40	
第145回	2019年2月28日～3月1日	函館コミュニティプラザ	17	42	

1.1.5 システムとLSIの設計技術研究発表会

第184回	2018年5月16日	北九州国際会議場	6	9	電子情報通信学会
第185回	2018年12月5日～7日	サライトキャンプひろしま	41	112	電子情報通信学会
第186回	2019年1月30日～31日	慶應義塾大学日吉キャンパス	22	92	電子情報通信学会
第187回	2019年3月17日～18日	西之表市民会館	55	77	電子情報通信学会

1.1.6 ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会

第164回	2018年5月7日	東京工業大学	9	66	
第165回	2018年7月30日～8月1日	熊本市国際交流会館	41	139	
第166回	2018年9月27日～28日	北海道立道民活動センター	15	40	
第167回	2018年12月17日～18日	沖縄産業支援センター	32	84	
第168回	2019年3月5日～7日	瑠璃光	27	79	

1.1.7 プログラミング研究発表会

第119回	2018年6月7日～8日	岐阜大学	8	32	
第120回	2018年8月1日	熊本市国際交流会館	8	22	
第121回	2018年10月31日～11月1日	日本アイ・ピー・エム	16	34	
第122回	2019年1月17日～18日	福山市ものづくり交流館	14	40	
第123回	2019年3月18日～19日	東京大学駒場キャンパス	8	31	

1.1.8 アルゴリズム研究発表会

第168回	2018年5月25日～26日	名古屋工業大学	15	65	電子情報通信学会
第169回	2018年9月3日	小樽商科大学	10	22	
第170回	2018年11月12日～13日	ハート7熱海	24	46	電子情報通信学会
第171回	2019年1月29日～30日	大阪府立大学	12	52	併催：人工知能学会
第172回	2019年3月5日	山形大学	10	22	

1.1.9 数理モデル化と問題解決研究発表会

第118回	2018年6月13日～15日	沖縄科学技術大学院大学	52	41	電子情報通信学会
第119回	2018年7月30日	MGM Resorts International	15	21	
第120回	2018年9月25日～26日	小樽商科大学	24	42	
第121回	2018年12月17日～18日	電気通信大学	19	45	
第122回	2019年2月28日～3月1日	湯布院公民館	18	33	

1.1.10 組込みシステム研究発表会

第48回	2018年6月29日	東海大学 高輪キャンパス	13	19	
第49回	2018年12月5日～7日	サテライトキャンパスひろしま	41	127	電子情報通信学会
第50回	2019年3月17日～18日	西之表市民会館	55	72	電子情報通信学会

1.2 情報環境領域

1.2.1 マルチメディア通信と分散処理研究発表会

第175回	2018年5月24日～25日	イーブ情報プラザ	41	33	電子情報通信学会
第176回	2018年9月13日～14日	岡山大学	21	32	
第177回	2019年1月31日～2月1日	つま恋リゾート彩の郷	7	14	
第178回	2019年3月4日～5日	名古屋大学	36	21	

1.2.2 ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会

第178回	2018年6月14日～15日	東京大学	27	98	電子情報通信学会/日本バーチャルリアリティ学会/ヒューマンインタフェース学会/映像情報メディア学会
第179回	2018年8月20日～21日	聖護院御殿荘	16	55	
第180回	2018年12月4日～5日	淡路夢舞台国際会議場	24	30	
第181回	2019年1月21日～22日	大演信泉記念館	31	52	
第182回	2019年3月18日～19日	明治大学	34	75	

1.2.3 情報システムと社会環境研究発表会

第144回	2018年6月2日	武蔵大学江古田キャンパス	7	22	
第145回	2018年9月7日～8日	関西大学	11	29	
第146回	2018年12月8日	東京工科大学蒲田キャンパス	9	24	
第147回	2019年3月7日	専修大学	9	27	

1.2.4 情報基礎とアクセス技術研究発表会

第131回	2018年7月28日	東京大学駒場キャンパス	3	31	併催：人工知能学会
第132回	2018年9月12日～14日	東京工業大学	32	352	電子情報通信学会
第133回	2019年2月7日～8日	龍谷大学大宮キャンパス	16	57	電子情報通信学会
第134回	2019年3月22日	東洋大学	8	8	

1.2.5 オーディオビジュアル複合情報処理研究発表会

第101回	2018年6月7日～8日	定山溪ビル	18	33	映像情報メディア学会/電子情報通信学会
第102回	2018年7月17日	東京理科大学	5	40	映像情報メディア学会/電子情報通信学会
第103回	2018年11月29日～30日	徳島大学常三島キャンパス	24	47	映像情報メディア学会/電子情報通信学会
第104回	2019年2月28日～3月1日	沖縄セルラ電話	11	14	

1.2.6 グループウェアとネットワークサービス研究発表会

第105回	2018年5月10日～11日	津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス	15	42	電子情報通信学会
第106回	2019年1月24日～25日	石垣市市民保健部健康福祉センター	58	33	
第107回	2019年3月18日～19日	駒沢大学	12	29	

1.2.7 ドキュメントコミュニケーション研究発表会

第109回	2018年7月3日～4日	公立はこだて未来大学	10	18	電子情報通信学会
第110回	2018年9月6日～7日	成蹊大学	23	71	電子情報通信学会
第111回	2018年11月26日	富士通株式会社	7	29	
第112回	2019年3月22日	東洋大学	8	15	

1.2.8 モバイルコンピューティングとパーベシブシステム研究発表会

第87回	2018年5月24日～25日	イーブ情報プラザ	41	43	電子情報通信学会
第88回	2018年8月30日～31日	慶應義塾大学三田キャンパス	14	29	
第89回	2018年11月15日～17日	興亜宮崎ビル高千穂ホール	20	29	
第90回	2019年3月4日～5日	東京大学駒場キャンパス	45	65	電子情報通信学会

1.2.9 コンピュータセキュリティ研究発表会

第81回	2018年5月17日～18日	富山商工会議所	26	56	電子情報通信学会
第82回	2018年7月25日～26日	札幌コンベンションセンター	61	54	電子情報通信学会
第83回	2018年12月13日～14日	別府国際コンベンションセンター	19	42	
第84回	2019年3月4日～5日	名古屋大学	36	70	

1.2.10 高度交通システムとスマートコミュニティ研究発表会

第73回	2018年5月24日～25日	イー情報プラザ	41	29	電子情報通信学会
第74回	2018年8月30日～31日	神奈川工科大学	10	13	電子情報通信学会/電気学会
第75回	2018年11月15日～17日	興亜宮崎ビル高千穂ホール	20	8	
第76回	2019年2月28日～3月1日	金沢工業大学	12	29	

1.2.11 ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会

第58回	2018年5月17日～18日	KDDI大手町ビル	12	41	
第59回	2018年8月31日～9月1日	函館アリーナ	12	29	
第60回	2018年12月4日～5日	淡路夢舞台国際会議場	24	24	
第61回	2019年3月4日～5日	東京大学駒場キャンパス	45	72	電子情報通信学会

1.2.12 インターネットと運用技術研究発表会

第41回	2018年5月17日～18日	富山商工会議所	26	72	電子情報通信学会
第42回	2018年6月28日～29日	鹿屋体育大学	9	36	
第43回	2018年9月27日～28日	長崎県立大学シーボルト校	16	48	
第44回	2019年3月7日～8日	ホテルランドエクスプレス 鳴門&ザ・ロッジ	52	159	電子情報通信学会

1.2.13 セキュリティ心理学とトラスト研究発表会

第28回	2018年5月10日～11日	津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス	15	29	電子情報通信学会
第29回	2018年7月25日～26日	札幌コンベンションセンター	61	7	電子情報通信学会
第30回	2018年9月27日～28日	長崎県立大学シーボルト校	16	5	
第31回	2018年11月2日	名古屋市立大学病院	18	21	
第32回	2019年3月7日～8日	NICT沖縄	36	18	電子情報通信学会

1.2.14 コンシューマ・デバイス&システム研究発表会

第22回	2018年5月31日～6月1日	島根大学松江キャンパス	13	33	
第23回	2018年8月30日～31日	慶應義塾大学三田キャンパス	14	43	
第24回	2019年1月24日～25日	石垣市市民保健部健康福祉センター	58	41	

1.2.15 デジタルコンテンツクリエイション研究発表会

第19回	2018年6月16日	東京藝術大学上野キャンパス	8	28	
第20回	2018年11月7日～8日	東北大学	20	19	
第21回	2019年1月24日～25日	石垣市市民保健部健康福祉センター	58	35	

1.2.16 高齢社会デザイン研究発表会

第12回	2018年6月29日	ココ東京ショールーム	6	31	
第13回	2018年8月31日～9月1日	函館アリーナ	12	22	
第14回	2018年12月21日	株式会社LIFULLイヘントスペース	6	25	

1.3 メディア知能情報領域

1.3.1 自然言語処理研究発表会

第235回	2018年5月13日	東京大学	7	56	
第236回	2018年7月19日～20日	理化学研究所	14	87	
第237回	2018年9月25日～26日	北見工業大学	9	25	
第238回	2018年12月11日～12日	早稲田大学	18	51	電子情報通信学会
第239回	2019年3月3日	東京工業大学大岡山キャンパス	5	108	

1.3.2 知能システム研究発表会

第192回	2018年7月6日～7日	北海道大学	16	21	
第193回	2019年2月26日～27日	別府国際コンベンションセンター	11	6	
第194回	2019年3月9日～10日	ルズヴィッツホテル	12	15	併催：人工知能学会/電子情報通信学会
第195回	2019年3月18日	静岡大学浜松キャンパス	15	18	

1.3.3 コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会

第212回	2018年5月10日～11日	大阪大学	42	97	
第213回	2018年9月20日～21日	福岡工業大学	39	122	電子情報通信学会
第214回	2018年11月7日～8日	東北大学	20	46	
第215回	2019年1月17日～18日	京都府庁	33	135	電子情報通信学会/パースペクティブ学会
第216回	2019年3月7日～8日	東邦大学	16	50	

1.3.4 コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学研究発表会

第170回	2018年6月21日	山形県庁	7	20	
第171回	2018年9月30日	東洋大学	21	24	
第172回	2018年11月7日～8日	東北大学	20	24	
第173回	2019年3月5日～6日	バンダイトスタジオ	9	36	

1.3.5 コンピュータと教育研究発表会

第145回	2018年6月9日	中京大学	13	54	
第146回	2018年10月20日～21日	保健医療経営大学	10	29	
第147回	2018年12月1日～2日	琉球大学	17	39	
第148回	2019年2月16日～17日	日本大学	16	74	
第149回	2019年3月2日～3日	京都情報大学	20	60	

1.3.6 人文科学とコンピュータ研究発表会

第117回	2018年5月12日	東京電機大学	13	60	
第118回	2018年8月18日	秋田大学	9	34	
第119回	2019年2月16日	大阪大学豊中キャンパス	16	63	

1.3.7 音楽情報科学研究発表会

第119回	2018年6月16日～17日	東京大学	61	210	
第120回	2018年8月21日～23日	広島工業大学	22	51	
第121回	2018年11月21日～22日	ホテルこうしゅうえん	31	19	日本音響学会
第122回	2019年2月22日～23日	関西学院大学	30	100	

1.3.8 音声言語情報処理研究発表会

第121回	2018年5月13日	東京大学	7	57	
第122回	2018年6月16日～17日	東京大学	61	182	
第123回	2018年7月26日～27日	館山寺カトリックホテル	9	48	電子情報通信学会
第124回	2018年10月10日	早稲田大学	7	42	IEEE SPS Tokyo Joint Chapter
第125回	2018年12月10日～11日	早稲田大学	24	63	電子情報通信学会
第126回	2019年2月27日～28日	ホテル磯部ガーデン	22	53	

1.3.9 電子化知的財産・社会基盤研究発表会

第80回	2018年5月31日～6月1日	情報セキュリティ大学院大学	20	88	電子情報通信学会
第81回	2018年9月13日～14日	岡山大学	21	32	
第82回	2018年11月2日	名古屋市立大学病院	18	22	
第83回	2019年2月15日	京都佛教大学	17	31	

1.3.10 ゲーム情報学研究発表会

第40回	2018年6月29日～30日	高知工科大学	9	22	
第41回	2019年3月8日～9日	電気通信大学	26	74	

1.3.11 エンタテインメントコンピューティング研究発表会

第48回	2018年6月14日～15日	東京大学	27	94	電子情報通信学会/日本バーチャルリアリティ学会/ ヒューマンインタフェース学会/映像情報メディア学会
第49回	2018年8月28日～29日	品川宿交流館	2	16	
第50回	2018年12月21日～22日	公立はこだて未来大学	39	141	
第51回	2019年2月22日～23日	関西学院大学	30	74	

1.3.12 バイオ情報学研究発表会

第54回	2018年6月13日～15日	沖縄科学技術大学院大学	52	48	電子情報通信学会
第55回	2018年9月18日	鶴岡メタボロームキャンパス	8	26	
第56回	2018年12月14日	岡山大学鹿田キャンパス	7	14	
第57回	2019年3月8日～9日	北陸先端科学技術大学院大学	13	30	

1.3.13 教育学習支援情報システム研究発表会

第25回	2018年6月15日～16日	北海道大学	13	30	
第26回	2018年12月7日	JR福井駅前AOSSA	17	42	
第27回	2019年3月20日～22日	京都大学	23	78	

1.3.14 アクセシビリティ研究発表会

第7回	2018年8月24日～25日	早稲田大学	12	43	
第8回	2018年11月30日～12月1日	首都大学東京	10	46	
第9回	2019年3月8日～10日	筑波技術大学	39	42	電子情報通信学会

2. シンポジウム等

2.1 調査研究活動分

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
The 2nd. cross-disciplinary Workshop on Computing Systems, Infrastructures, and Programming (xSIG 2018)	2018年5月28日～30日	一橋講堂	58	157
マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOM2018) シンポジウム	2018年7月4日～6日	福井県芦原温泉清風荘	276	427
Workshop on Curling Informatics (WCI)	2018年8月2日～3日	北見工業大学	17	119
情報教育シンポジウム2018 (SSS2018)	2018年8月19日～21日	湯の尻 海と夕やけ	41	93
DAシンポジウム2018	2018年8月29日～31日	山代温泉 ゆのくに天祥	47	115
組込みシステムシンポジウム2018 (ESS2018)	2018年8月30日～31日	下呂温泉水明館	33	88
ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2018 (SES2018)	2018年9月5日～7日	東洋大学 白山キャンパス	72	156
第11回Webとデータベースに関するフォーラム (WebDB Forum 2018)	2018年9月12日～14日	東京工業大学 大岡山キャンパス	77	344
エンタテインメントコンピューティングシンポジウム (EC2018)	2018年9月13日～15日	電気通信大学ノイオンシ ネマ シアタス調布	73	232
コンピュータセキュリティシンポジウム (CSS2018)	2018年10月22日～25日	ホテルメトロポリタン 長野	184	750
Asia Pacific Conference on Robot IoT System Development and Platform (APRIS2018)	2018年10月30日～11月2日	Prince of Songkla University Phuket Campus	39	105
第26回マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPSWS2018)	2018年11月7日～9日	佐賀川上峡温泉 ホテル龍登園	40	60
グループウェアとネットワークサービスワークショップ2018	2018年11月15日～16日	美ヶ原温泉 ホテル翔峰	16	28
ゲームプログラミングワークショップ2018 (GPW2018)	2018年11月16日～18日	箱根セミナーハウス	36	79
ユーザブルセキュリティ・プライバシー (USP) 論文読破会	2018年11月27日	理化学研究所革新知能統 合研究センター	19	40
第30回コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2018)	2018年11月29日～30日	法政大学 市ヶ谷キャンパス	31	71
人文科学とコンピュータシンポジウム (じんもんこん2018)	2018年12月1日～2日	東京大学 地震研究所	59	161
第11回インターネットと運用技術シンポジウム (IOTS2018)	2018年12月6日～7日	米子コンベンションセン ター	22	75
高度交通システム研究フォーラム2018	2018年12月21日	慶應義塾大学 日吉キャンパス	21	50
災害コミュニケーションシンポジウム	2018年12月26日	津田塾大学	10	33
ウインターワークショップ2019・イン・福島飯坂	2019年1月24日～25日	飯坂ホテル聚楽	46	77
インタラクティブ2019	2019年3月6日～8日	学術総合センター	235	707

2.2 教育活動分

高校教科「情報」シンポジウム2018秋 — ジョーシン2018秋 —	2018年10月27日	早稲田大学 西早稲田キャンパス	6	103
---------------------------------------	-------------	--------------------	---	-----

3. 事業活動

3.1 全国大会

名称	開催年月	場所	一般講演	招待講演	参加数
第81回全国大会	2019年3月14日～16日	福岡大学 七隈キャンパス	1,192	9	2,905

3.2 FIT (情報科学技術フォーラム)

FIT2018 第17回情報科学技術フォーラム	2018年9月19日～21日	福岡工業大学	508	1	1,069
-------------------------	----------------	--------	-----	---	-------

※共催：電子情報通信学会 (情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)

3.3 連続セミナー2018：テーマ「超スマート社会を切り拓く技術トレンドを探る」

名称	開催年月	場所	演題数	本会場 参加数	遠隔会場 参加数
フィールドロボットの知能化技術開発と実用化の動向	2018年6月25日	本会場：化学会館 遠隔会場：大阪大学 中之島センター 遠隔会場：東北大学	5	73	10
『EV化+完全自動運転+モビリティサービス』の必然性、開発状況、今後の方向性を全解説	2018年7月19日		3	67	15
セキュリティ～サイバーインシデントに備える～	2018年9月11日		6	88	18
エッジコンピューティングの課題と未来	2018年10月3日		5	91	27
人工知能時代のコンピューティング基盤	2018年11月27日	本会場：NII 遠隔会場：大阪大学 中之島センター 遠隔会場：東北大学	7	102	32
人工知能時代のソフトウェアエンジニアリング	2018年12月12日	本会場：化学会館 遠隔会場：大阪大学 中之島センター 遠隔会場：東北大学	5	112	51

※協賛：照明学会、映像情報メディア学会、電気学会、情報サービス産業協会、電子情報通信学会、電子情報技術産業協会、人工知能学会、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム、情報通信技術委員会、インターネット協会、新世代M2Mコンソーシアム

※後援：特定非営利活動法人 ITコーディネータ協会

3.4 短期集中セミナー

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
Exciting Coding! Junior 2018 スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう！	2017年9月16日	青山学院大学	---	13組26名	
画像・音声・マルチメディア符号化技術 ～標準化最新動向および知財動向～	2018年10月30日	機械振興会館	7	33	※1

※1) 協賛：電気学会、照明学会、電子情報通信学会、映像情報メディア学会、電子情報技術産業協会、ビジネス機械・情報システム産業協会、日本技術士会、IEEE東京支部

Exciting Coding! Junior 2019@Sapporo スクラッチを使ってプログラミングを学ぼう！	2019年2月16日	北海道大学	---	22組44名	
「安心」なIoT世界の実現に向けて	2019年2月28日	機械振興会館	5	41	※1, 2

※1) 協賛：照明学会、電子情報技術産業協会、映像情報メディア学会、日本技術士会、電子情報通信学会、電気学会、ビジネス機械・情報システム産業協会

※2) 後援：独立行政法人 情報処理推進機構

3.5 プログラミング・シンポジウム

名称	開催年月	場所	演題数	参加数
夏のプログラミング・シンポジウム2018	2018年8月27日～29日	かんぼの宿 諏訪	17	29
第51回情報科学若手の会	2018年10月6日～8日	軽井沢研修所	16	41
第60回プログラミング・シンポジウム	2019年1月11日～13日	ラフォーレ倶楽部 伊東温泉湯の庭	17	74

3.6 IPSJ International AI Programming Contest

名称	開催年月	場所	チーム数	参加数	備考
Samurai Coding 2018-19 (Final Round)	2019年3月15日	福岡大学七隈キャンパス	16	24	※

※) 協賛：情報サービス産業協会、電子情報技術産業協会、電子情報通信学会、人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、日本情報システム・ユーザー協会、情報科学国際交流財団、IEEE Computer Society、IEEE Computer Society Tokyo/Japan Joint Chapter、IEEE Japan Office、The Korean Institute of Information Scientists and Engineers、China Computer Federation

後援：文部科学省、総務省、経済産業省、情報処理推進機構

ゴールドスポンサー：いい生活、日立製作所、野村ホールディングス

サポーター：日本レジストリサービス、富士通、ナレッジクリエーションテクノロジー

4. 技術応用活動

4.1 個別ITフォーラム（5件）

名称	代表者名
サービスサイエンス	諏訪良武
ユニバーサルデザイン協創	菰川友宏
コンタクトセンター	河合 洋
CITP	平林元明
勉強会	河口信夫

4.2 ITフォーラム関連のイベント

名称	開催年月	場所	演題数	参加数	備考
ソフトウェアジャパン2019 「ビッグデータ、IoT、AI でプロフェッショナルを生き残れ」	2019年2月5日	一橋大学一橋講堂会議室 ・学術総合センターNII	5	435	※1.2

※1) 協賛：日本情報システム・ユーザー協会、日本統計学会、Tokyo.R、日本計量生物学会、日本計算機統計学会、照明学会、自動車技術会、電気学会、情報通信技術委員会、応用統計学会、CBI学会、日本技術士会、インターネット協会、情報サービス産業協会、電子情報通信学会、日本バイオインフォマティクス学会、映像情報メディア学会、電子情報技術産業協会、情報通信研究機構、先端IT活用推進コンソーシアム、国立情報学研究所、Open Source People Network、人工知能学会、日本ソフトウェア科学会、日本Rubyの会、データサイエンティスト協会
後援：文部科学省、経済産業省、総務省、情報処理推進機構、スポンサー：7口、サポーター：19口、メディア出展：3口
※2) 基調講演、IoTセッション、AIセッションのほか、パネル討論、SJアワード・デジタルプラクティス論文賞セレモニー、ITフォーラム5件（他団体連携1件（AITC））を開催

5. 支部活動（※役員会等は除く）

5.1 北海道支部

・情報処理北海道シンポジウム2018（10月6日、北見工業大学） 演題数62件、参加者数96名

5.2 東北支部

・電気関係学会東北支部連合大会（9月6日～7日、弘前大学） 演題数266件、参加者450名
・支部研究会 7回（11月29～30日、12月7日、12月15日、'19年1月12日、2月9日、2月21日、3月11日）
・支部講演会 3回（6月20日、11月22日、12月7日）

5.3 東海支部

・電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会（9月3～4日、名城大学） 演題数437件、参加者数512名 注）4日は台風により中止
・講演会 6回（5月28日、7月25日、9月3日、10月12日、11月26日、'19年1月29日）
・研究会 11回（協賛等）
・学生研究発表助成 1件

5.4 北陸支部

・特別講演会 1回（5月11日）
・研究講演会 1回（11月14日）
・電気関係学会北陸支部連合大会（8月8～9日、北陸先端科学技術大学院大学） 演題数212件、参加者数439名
・北陸地区学生による研究発表会（'19年3月2日、富山高専）

5.5 関西支部

・関西支部支部大会（9月30日、大阪大学中之島センター） ※台風により中止
・支部研究会：ネットワークサービス研究会（9月30日※台風により中止）、
グリーン組込みコンピューティング研究会（9月30日※台風により中止）、
プログラミング・情報教育研究会 7回（4月28日、8月16日、9月10日、9月28日、9月30日は台風により中止、'19年2月、3月1日）
行動変容と社会システム研究会 3回（6月18日、'19年3月7～10日、9月は台風により中止）
・支部セミナー 3回（7月29日子供セミナーは台風により中止、6月14日・21日、11月11日）
・講演会 1回（12月7日）
・連続セミナー2018（遠隔会場） 6回（6月25日、7月19日、9月11日、10月3日、11月27日、12月12日）

5.6 中国支部

・電気・情報関係学会中国支部連合大会（10月20日、広島市立大） 演題数249件、参加者数422名
・講演会 8回（5月30日、9月21日、7月20日、8月8日、12月7日、11月19日、12月15日、'19年2月2日）
・講習会 4回（7月12日、9月10日、12月3日、12月7日）

5.7 四国支部

・電気系学会四国支部連合大会（9月22日、愛媛大学） 参加者数403名
・共催事業 3回（12月14日、'19年2月23日、3月7～8日）
・講演会 5回（7月21日、10月6日、10月18日、'19年1月25日、2月18日）

5.8 九州支部

・電気関係学会九州支部連合大会（9月27～28日、大分大学） 聴講者数606名
・若手の会セミナー（12月7～8日、国民宿舎 虹ノ松原ホテル） 参加者数15名
・火の国情報シンポジウム（'19年3月2～3日、熊本大学） 参加者数98名
・講演会等 3回（11月5日、11月22日、11月30日）

付3. 刊行物（機関誌・図書）一覧

1. 会誌「情報処理」（月刊）

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				記事数	本文頁数	広告頁数
2018年4月15日	59	5	サービスエクセレンス／匿名加工とプライバシー保護	25	91	6
2018年5月15日	59	6	大学発ICTベンチャー	25	91	7
2018年6月15日	59	7	吊いと技術革新	19	85	4
2018年7月15日	59	8	暮らしの中で活躍するAIとロボット	17	93	4
2018年8月15日	59	9	ラーニングアナリティクス	18	93	4
2018年9月15日	59	10	安全なデータ活用を実現する秘密計算技術	22	93	4
2018年10月15日	59	11	ディープラーニング活用事例と使いこなしの勘所／牛とIT/ICT	25	99	6
2018年11月15日	59	12	デジタルエコノミー時代のサイバーセキュリティーデジタルトランスフォーメーション促進の基盤確立に向けてー	20	107	6
2018年12月15日	60	1	機械学習工学	20	99	6
2019年1月15日	60	2	社会を変えるIoT	22	99	6
2019年2月15日	60	3	水産業と情報処理	24	101	6
2019年3月15日	60	4	医療と情報	21	75	6

2. 「情報処理学会論文誌（ジャーナル）」（月刊）

※オンライン刊行のみ

発行年月日	巻	号	特集テーマ	その他参考		
				論文数	テクニカルノート数	本文頁数
2018年4月15日	59	4	ソフトウェア工学	18	1	190
2018年5月15日	59	5	情報システム論文	11	0	85
2018年6月15日	59	6	---	8	0	21
2018年7月15日	59	7	---	5	0	30
2018年8月15日	59	8	組込みシステム工学	9	0	87
2018年9月15日	59	9	超スマート社会を支えるコンピュータセキュリティ技術	29	0	251
2018年10月15日	59	10	ユビキタス・コンピューティングシステム（Ⅶ）	17	0	149
2018年11月15日	59	11	ゲームプログラミング/エンタテインメントコンピューティング	15	0	153
2018年12月15日	59	12	セキュリティ人財と技術で目指す信頼できる社会基盤の実現に向けて	21	0	230
2019年1月15日	60	1	未来の暮らしを支えるパーベシブシステムと高度交通システム/全ての人とモノがつながる社会に向けたコラボレーション技術とネットワークサービス	30	0	269
2019年2月15日	60	2	インタラクションの理解および基盤・応用技術/ネットワークサービスと分散処理/組込みシステム工学	49	0	457
2019年3月15日	60	3	若手研究者/レジリエントな情報システム構築によるインターネットと運用技術	32	0	297

3. 「Journal of Information Processing (JIP)」(年刊)

※オンライン刊行のみ

				その他参考		
発行年	巻	号	備考	論文数	テクニカルノート数	本文頁数
2018年4月15日	26	—	トランザクション連携論文: 0	3	1	30
2018年5月15日	26	—	トランザクション連携論文: 2	6	0	64
2018年6月15日	26	—	トランザクション連携論文: 1	7	0	79
2018年7月15日	26	—	トランザクション連携論文: 0	2	0	21
2018年8月15日	26	—	トランザクション連携論文: 1	3	0	32
2018年9月15日	26	—	トランザクション連携論文: 2 Special Issue of Applications and the Internet in Conjunction with Main Topics of COMPSAC 2017	11	0	135
2018年10月15日	26	—	トランザクション連携論文: 1	5	0	49
2018年11月15日	26	—	トランザクション連携論文: 2	3	0	34
2018年12月15日	26	—	トランザクション連携論文: 0	3	0	36
2019年1月15日	27	—	トランザクション連携論文: 2	9	0	94
2019年2月15日	27	—	トランザクション連携論文: 5	13	0	138
2019年3月15日	27	—	トランザクション連携論文: 1	9	0	102

4. 「情報処理学会論文誌(トランザクション)」(不定期、10誌)

※オンライン刊行のみ

				その他参考	
発行年月日	巻	号	トランザクション名	論文数	本文頁数
2018年6月26日	11	2	プログラミング	2	31
2018年9月20日	11	3	プログラミング	3	31
2018年12月14日	11	4	プログラミング	3	17
2019年1月30日	12	1	プログラミング	2	15
2018年7月26日	11	2	数理モデル化と応用	10	106
2018年12月10日	11	3	数理モデル化と応用	9	105
2019年3月15日	12	1	数理モデル化と応用	5	51
2018年4月17日	11	1	データベース	3	10
2018年7月11日	11	2	データベース	5	43
2018年10月17日	11	3	データベース	5	46
2019年1月16日	12	1	データベース	7	52
2018年8月3日	11	2	コンピューティングシステム	4	26
2019年1月21日	12	1	コンピューティングシステム	2	0
2019年2月22日	12	2	コンピューティングシステム	2	26
2018年5月22日	8	2	コンシューマ・デバイス&システム	10	102
2018年10月30日	8	3	コンシューマ・デバイス&システム	5	42
2019年1月31日	9	1	コンシューマ・デバイス&システム	5	41
2018年8月20日	6	2	デジタルコンテンツ	4	41
2019年2月28日	7	1	デジタルコンテンツ	3	32
2018年6月6日	4	2	教育とコンピュータ	5	61
2018年10月30日	4	3	教育とコンピュータ	2	20
2019年2月28日	5	1	教育とコンピュータ	5	49
2018年6月6日	11	—	Bioinformatics	1	13
2018年7月5日	11	—	Bioinformatics	2	17
2018年9月13日	11	—	Bioinformatics	1	10
2018年12月10日	11	—	Bioinformatics	1	7
2019年1月31日	12	—	Bioinformatics	1	8
2019年3月25日	12	—	Bioinformatics	1	8

2018年8月1日	11	-	System LSI Design Methodology	2	28
2019年2月22日	12	-	System LSI Design Methodology	7	51
2018年5月30日	10	-	Computer Vision and Applications	1	11
2018年5月31日	10	-	Computer Vision and Applications	1	7
2018年6月8日	10	-	Computer Vision and Applications	1	6
2018年6月14日	10	-	Computer Vision and Applications	1	12
2018年6月19日	10	-	Computer Vision and Applications	1	16
2018年7月31日	10	-	Computer Vision and Applications	2	18
2018年9月27日	10	-	Computer Vision and Applications	1	13
2018年10月23日	10	-	Computer Vision and Applications	1	13
2018年11月8日	10	-	Computer Vision and Applications	1	15
2018年11月13日	10	-	Computer Vision and Applications	1	10
2018年12月27日	10	-	Computer Vision and Applications	1	6
2019年2月22日	11	-	Computer Vision and Applications	1	16

5. 「情報処理学会デジタルプラクティス」(年4回)

				その他参考	
発行年月日	巻	号	特集テーマ	論文数	本文頁数
2018年4月15日	9	2	価値を創造するコンタクトセンタ	13	330
2018年7月15日	9	3	情報セキュリティ対策のプラクティス	11	191
2018年10月15日	9	4	クラウドソーシング/ヒューマンコンピューテーション	9	162
2019年1月15日	10	1	情報分野における標準の戦略と実践	16	285

6. その他出版(重版)

※判型:A5、委託出版社名:オーム社

発行年月	書籍名	発行部数	本文頁数
2018年4月10日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション(改訂2版)(2版3刷)	600	260
2018年5月25日	IT textシリーズ Javaオブジェクト指向プログラミング(1版2刷)	207	270
2018年7月10日	IT textシリーズ ソフトウェア開発(改訂2版)(2版4刷)	700	224
2018年7月20日	IT textシリーズ アルゴリズム論(1版16刷)	700	230
2018年7月30日	IT Textシリーズ(一般教育) 情報とネットワーク社会(1版5刷)	600	192
2018年7月30日	IT textシリーズ コンパイラとバーチャルマシン(1版14刷)	300	212
2018年8月20日	IT textシリーズ 自然言語処理(1版9刷)	117	192
2018年8月30日	IT Textシリーズ(一般教育) 情報システム基礎(1版11刷)	500	218
2018年8月30日	IT textシリーズ 認知インタフェース(1版13刷)	300	248
2018年9月10日	IT textシリーズ 情報セキュリティ(1版15刷)	400	288
2018年9月10日	IT textシリーズ オペレーティングシステム(改訂2版)(2版2刷)	1,200	260
2018年9月20日	IT textシリーズ ソフトウェア工学演習(1版13刷)	140	228
2018年9月20日	IT textシリーズ Java基本プログラミング(1版5刷)	300	234
2018年11月10日	IT textシリーズ 基礎Web技術(改訂2版)(2版2刷)	700	188
2018年11月30日	IT textシリーズ ヒューマンコンピュータインタラクション(改訂2版)(2版4刷)	1,000	260
2018年12月20日	IT textシリーズ コンピュータアーキテクチャ(1版15刷)	400	232
2018年12月20日	IT textシリーズ 人工知能(改訂2版)(2版3刷)	300	244
2019年1月30日	IT textシリーズ 組込みシステム(1版6刷)	500	266
2019年2月20日	IT textシリーズ 情報と職業(改訂2版)(2版4刷)	900	232
2019年2月25日	IT textシリーズ 認知インタフェース(1版14刷)	300	248
2019年2月25日	IT textシリーズ データベース(1版17刷)	500	196

付4. 国際会議一覧

※以下は、2018年度内に終了報告が完了した国際会議

名称	開催年月	場所	参加数	内 海外参加	海外 共催団体
The 12th International Workshop on Security (IWSEC2017)	2017年8月30日-9月1日	日本（広島）	117名	12名	---
International Conference on High Performance Computing in Asia Pacific Region (HPCAsia2018)	2018年1月28日-31日	日本（東京）	260名	79名	---

付5. 表彰等 *いずれも所属（ ）内は選定当時、掲載は順不同、敬称略

1. 新名誉会員（2名）		[2019年度定時総会（2019年6月）表彰] [理事会（2019年1月）]	
・ 富田達夫（IPA）	・ Carl K Chang（Iowa State University）		
2. 功績賞（3名）・ 顕功賞：該当なし		[2019年度定時総会（2019年6月）表彰] [功績賞選定委員会（2019年3月）]	
・ 小花貞夫（電通大）	・ 東野輝夫（阪大）	・ 前田 章（JST）	
3. 新フェロー（13名）		[2019年度定時総会（2019年6月）表彰] [フェロー選定委員会（2019年2月）]	
・ 石川佳治（名大）	「空間データベースに関する研究と学会の運営および活性化への貢献」		
・ 奥村明俊（NECソリューションズイノベータ）	「携帯端末を用いた音声言語処理と顔認証の実用化技術の開発と事業化に対する貢献」		
・ 久野義徳（埼玉大）	「コンピュータビジョンを用いたインタラクションの研究に対する貢献」		
・ 近藤邦雄（東京工科大）	「CGの非写実的表現とコンテンツ制作技術の研究およびその教育・普及に関する貢献」		
・ 重野 寛（慶大）	「無線および分散型ネットワーク技術の研究と学会運営に対する貢献」		
・ 角 康之（はこだて未来大）	「体験メディアの先駆的研究への貢献」		
・ 角谷和俊（関西学院大）	「マルチメディア・データベースとSNS分析方式の研究開発および学会活動への貢献」		
・ 高田広章（名大）	「組込みシステムの先駆的研究・開発と産業展開及び人材育成に対する貢献」		
・ 富田達夫（IPA）	「サーバなどシステムプラットフォームの製品開発および学会運営への貢献」		
・ 西本一志（北陸先端大）	「創造活動支援研究に対する貢献」		
・ 堀内浩規（KDDI）	「通信ネットワーク管理システムの研究開発と実用化」		
・ 屋代智之（千葉工大）	「高度交通システムに関する研究開発および学会運営に対する貢献」		
・ 横森 貴（早大）	「生命情報学および形式言語理論・計算論的学習理論に関する研究」		
4. 論文賞（7件22名）		[2019年度定時総会（2019年6月）表彰] [論文賞選定委員会（2019年2月）]	
(1) 情報処理学会論文賞			
・ 受信ノード主導型MACプロトコルのビーコン削減に基づいた長寿命センサネットワーク		横谷晟人、吉廣卓哉（和歌山大）	
・ 健常歩行者センサデータを用いたバリア検出の基礎検討		宮田章裕、荒木伊織、王 統順、鈴木天詩（日大）	
・ 異なるモダリティ間の双方向生成のための深層生成モデル		鈴木雅大、松尾 豊（東大）	
・ 視覚特性に基づく高効率映像圧縮伝送システム		岡田光弘、佐藤拓杜、稲田圭介、谷田部祐介（日立製作所）、 伊藤浩朗（日立オートモティブシステムズ）、小味弘典（日立産業制御ソリューションズ）	
(2) Journal of Information Processing Outstanding Paper Award			
・ Typing Tutor: Individualized Tutoring in Text Entry for Older Adults Based on Statistical Input Stumble Detection		Toshiyuki Hagiya（KDDI研/京大）、Toshiharu Horiuchi、Tomonori Yazaki（KDDI研）、Tatsuya Kawahara（京大）	
(3) 情報処理学会論文誌 プログラミング 優秀論文賞			
・ Proof of Soundness of Concurrent Separation Logic for GPGPU in Coq		Izumi Asakura、Hidehiko Masuhara、Tomoyuki Aotani（東工大）	
(4) 情報処理学会論文誌 教育とコンピュータ 優秀論文賞			
・ ピクトグラミング—人型ピクトグラムを用いたプログラミング学習環境		伊藤 一成（青山学院大）	
5. 業績賞（3件15名、*：代表貢献者）		[2019年度定時総会（2019年6月）表彰] [業績賞選定委員会（2019年3月）]	
・ 「時空間データ横断プロファイリング技術の開発と実用化」		*劉 健全、西村祥治、平川康史、荒木拓也、董 婷婷（NEC）	

- ・「薄く柔らかい電池交換不要なビーコンの研究開発と実用化」
*中本裕之、佐藤弘幸、高 虹（富士通研）、馬場俊二、菅田 隆（富士通アドバンステクノロジー）
- ・「機微な情報を安全に利活用できる秘匿検索処理技術の研究開発と実用化」
*吉野雅之、佐藤尚宜、長沼 健、佐藤恵一、村瀬真治（日立）

6. 情報処理技術研究開発賞（1名） [2019年度定時総会（2019年6月）表彰] [情報処理技術研究開発賞選定委員会（2019年1月）]

- ・堀井 洋（日本IBM） 「量子コンピュータのシミュレーションの性能改善」

7. マイクロソフト情報学研究賞（2名） [第81回全国大会（2019年3月）表彰] [マイクロソフト情報学研究賞選定委員会（2019年1月）]

- ・藤田桂英（農工大） 「マルチエージェント自動交渉理論および実用化に関する研究」
- ・山内由紀子（九大） 「自立分散ロボット群の自己組織化の研究」

8. IPSJ/ACM Award for Early Career Contributions to Global Research（1名）
[第81回全国大会（2019年3月）表彰 *2019年6月 ACM Award Banquet招待] [IPSJ/ACM審査会（2019年1月）]

- ・亀井靖高（九大） 「Mining Software Repositories (MSR) to Improve Software Quality Assurance」

9. IPSJ/ IEEE Computer Society Young Computer Researcher Award（2名）
[IEEE-CS BoG（2019年6月）表彰 *第81回全国大会（2019年3月）発表] [IPSJ/IEEE-CS審査会（2019年1月）]

- ・島田敬士（九大） 「Outstanding Research on Real-time Learning Analytics」
- ・前川卓也（阪大） 「Outstanding research on zero-shot and few-shot unobtrusive context recognition for pervasive computing」

10. 山下記念研究賞（57編） [第81回全国大会（2019年3月）表彰] [各領域委員会（2018年7月）]

<コンピュータサイエンス領域>

- ・分散グラフ処理におけるグラフ分割 [データベースシステム] 塩川浩昭（筑波大）
- ・RDMAの適用によるRAMPトランザクション処理の高速化 [データベースシステム] 川島英之（慶大）
- ・深層学習による不具合混入コミットの予測と評価 [ソフトウェア工学] 近藤将成（京都工繊大）
- ・GUI自動テストにおけるテストスクリプト中のロケータ修正支援手法 [ソフトウェア工学] 切貫弘之（NTT）
- ・パケット処理キャッシュにおける送信元IPアドレスに着目した ミス削減手法に関する初期検討 [システム・アーキテクチャ] 八巻隼人（電通大）
- ・低電力モードを備えるプロセッサとモード切り替えアルゴリズムによる電力効率の向上 [システム・アーキテクチャ] 塩谷亮太（名大）
- ・システム障害発生時における障害情報収集と再起動の同時実行による高信頼化 [システムソフトウェアとオペレーティング・システム] 山本遼介（三菱電機）
- ・エラー予告ベース適応的電圧制御のMTTF考慮設計手法 [システムとLSIの設計技術] 増田 豊（阪大）
- ・最小エネルギー動作点追跡アルゴリズムの実チップ評価 [システムとLSIの設計技術] 保木本修（マツダ）
- ・タイルレベルの並列処理を可能とする時空間タイリング手法を用いた3次元FDTDカーネルの実装と性能評価 [ハイパフォーマンスコンピューティング] 深谷 猛（北大）
- ・Less is More: Accelerating Deep Neural Networks with Micro-Batching [ハイパフォーマンスコンピューティング] 大山洋介（東工大）
- ・Safe Low-level Code Generation in Coq Using Monomorphization and Monadification [プログラミング] 田中 哲（産総研）
- ・Space-Efficient Algorithms for Longest Increasing Subsequence [アルゴリズム] 大館陽太（熊本大）
- ・2段階転移学習を用いた深層畳み込みニューラルネットによるびまん性肺疾患の識別と特徴表現の解析 [数理モデル化と問題解決] 鈴木藍雅（筑波大）
- ・ROS2における通信特性に応じたDDS実装の動的選択機構の実現 [組込みシステム] 森田 鍊（はこだて未来大）

<情報環境領域>

- ・下水管路検査用浮流型無線ネットワークカメラシステムの実現技術 [マルチメディア通信と分散処理] 石原 進（静岡大）
- ・パスワード別添付メールの問題点と受信側での対策について [マルチメディア通信と分散処理] 乃村能成（岡山大）
- ・小型ロボットを用いた自己客体視システムによる思考変容の誘発 [ヒューマンコンピュータインタラクション] 高橋英之（阪大）

- ・不便に対して人が受ける印象の比較評価～人と業務システムの違い～ [ヒューマンコンピュータインタラクション] 草野孔希 (NTT)
- ・緊急搬送を要する妊婦の情報共有における効果的・効率的なシステムの構築および検証について [情報システムと社会環境] 山下範之 (岡山大)
- ・半教師あり非負値行列因子分解を用いた二項分類向け転移学習の評価 [情報基礎とアクセス技術] 米川 慧 (KDDI研)
- ・複雑な光学特性をもつ実物体の写実的な再現のための事前撮影画像による拡張現実システム [オーディオビジュアル複合情報処理] 三原翔一郎 (KDDI研)
- ・紙をちぎることで電子情報を手渡すインタラクション方式の基礎検討 [グループウェアとネットワークサービス] 呉 健朗 (日大)
- ・雑談を誘発するテレプレゼンスロボットシステム [グループウェアとネットワークサービス] 葛岡英明 (筑波大)
- ・多言語社会におけるコミュニケーションモデルの一提案 [ドキュメントコミュニケーション] 中挾知延子 (東洋大)
- ・Stacked convolutional denoising autoencodersを用いた2誘導心電図からの特徴抽出および不整脈分類 [モバイルコンピューティングとパーベシブシステム] 高橋 柊 (SAS Institute Japan)
- ・サッカートラッキングデータを用いた機械学習に基づくプレー認識手法の提案 [モバイルコンピューティングとパーベシブシステム] 今井友揮 (ヤンマー)
- ・ユーザブロック機能の光と陰: ソーシャルアカウントを特定するサイドチャネルの構成 [コンピュータセキュリティ] 渡邊卓弥 (NTT)
- ・静電容量方式タッチパネルに対する敵対的な干渉の脅威 [コンピュータセキュリティ] 丸山誠太 (早大)
- ・CANを用いた階層統合型車載ネットワークの提案 [高度交通システムとスマートコミュニティ] 徳永雄一 (三菱電機)
- ・Lokemon: その場に潜むモンスターを介した参加型センシング手法 [ユビキタスコンピューティングシステム] 坂村美奈 (慶大)
- ・腕装着型センサによる飲水量推定法の提案 [ユビキタスコンピューティングシステム] 濱谷尚志 (NTTドコモ)
- ・He loved the cloud, but the cloud did not love him. [インターネットと運用技術] 柏崎礼生 (阪大)
- ・九州工業大学における情報セキュリティ対策の取り組みについて [インターネットと運用技術] 中村 豊 (九工大)
- ・オプトアウトの神話と事実: 行動ターゲティング広告におけるオプトアウトの効果に関する調査 [セキュリティ心理学とトラスト] 坂本一仁 (セコム)
- ・音声対話型AI帳票を実現する現場作業支援ソリューションの提案 [コンシューマ・デバイス&システム] 田淵仁浩 (NEC)
- ・SDM3602: 音楽イベントのための自由視聴点映像音声のインタラクティブ再生 [デジタルコンテンツクリエイション] 塚田 学 (東大)
- ・コミュニティの特徴を考慮した高齢者見守りサービス設計手法の開発 [高齢社会デザイン] 稗方和夫 (東大)

<メディア知能情報領域>

- ・教師なし系列マッチング [自然言語処理] 和田崇史 (奈良先端大)
- ・楽曲聴取行動系列の階層化による聴取傾向変化の検出と行動分析 [知能システム] 高野雅典 (サイバーエージェント)
- ・Discrete Inference Approaches to Image Segmentation and Dense Correspondence [コンピュータビジョンとイメージメディア] 谷合竜典 (理研)
- ・Measuring Translucent Objects using Spatially and Temporally Modulated Light [コンピュータビジョンとイメージメディア] 田中賢一郎 (奈良先端大)
- ・マイクロタスク型クラウドソーシングによる協調的三次元モデリング [コンピュータグラフィックスとビジュアル情報学] 鈴木良平 (東大)
- ・ピクトグラミング -人型ピクトグラムを用いたプログラミング学習環境- [コンピュータと教育] 伊藤一成 (青山学院大)
- ・情報システムにおけるデータベースの仕組みを学ぶ共通教科「情報」授業の提案と実践 [コンピュータと教育] 白井詩沙香 (阪大)
- ・地方小集落の「集落アーカイブ」の課題と実践的取り組みについて [人文科学とコンピュータ] 藤本 悠 (奈良大)
- ・古典中国語Universal Dependenciesへの挑戦 [人文科学とコンピュータ] 安岡孝一 (京大)
- ・調とリズムを考慮した階層隠れセミマルコフモデルに基づく歌声F0軌跡に対する音符推定 [音楽情報科学] 錦見 亮 (京大)
- ・記号と信号処理の相互作用フレームワークの構築に向けたGTTMの大域的構造を考慮した音響信号の分節の調整 [音楽情報科学] 澤田 隼 (はこだて未来大)
- ・End-to-EndモデルによるSocial Signals検出および音声認識との統合 [音声言語情報処理] 稲熊寛文 (京大)
- ・日米欧の自動走行に関する政策動向比較と今後の我が国の方向性に関する一考察 [電子化知的財産・社会基盤] 加藤尚徳 (KDDI研)
- ・花札のこいこいにおける方策勾配法とNeural Fitted Q Iterationの適用 [ゲーム情報学] 佐藤直之 (佐世保工専)
- ・視聴覚コンテンツの音情報から生成した振動の高次感性促進効果 [エンタテインメントコンピューティング] 柳生寛幸 (東北大)
- ・自己実現理論を起点としたEntertainment Design Assetの提案とその分析事例報告 [エンタテインメントコンピューティング] 小笠 航 (バンダイナムコスタジオ)

- ・Characteristic of functional enrichments of putative transcriptional target genes and its application [バイオ情報学] 大里直樹 (阪大)
- ・Implementing A Blockchain Based Learning Analytics Platform [教育学習支援情報システム] Ocheja Patrick Ileanwa (京大)
- ・視覚障害者向け屋内ナビゲーションシステムの大規模施設における測位精度の評価 [アクセシビリティ] 佐藤大介 (日本IBM)

11. 大会優秀賞・大会奨励賞[第81回全国大会 (2019年3月) 表彰] [第80回全国大会 大会優秀賞・大会奨励賞選定委員会 (2018年6月)]

(1) 大会優秀賞 (5名)

- ・石井良尚 (豊田中央研究所) ・井上 仁 (保健医療経営大) ・白数紘之 (京都産業大) ・鈴木美香 (山形大)
- ・本郷節之 (北海道科学大)

(2) 大会奨励賞 (11名)

- ・蟻浪 卓 (宮城大) ・飯野 翼 (早大) ・春日 悠 (横国大) ・川田涼平 (東京農工大)
- ・川村健太 (東京電機大) ・笹原規睦 (法政大) ・下山愛祐美 (群馬大) ・諏訪重貴 (芝浦工大)
- ・廣瀬郁也 (芝浦工大) ・古川義人 (神奈川工科大) ・山田遊馬 (阪大)

12. 優秀教材賞 ※優秀教育賞：該当なし [2019年度定時総会 (2019年6月) 表彰] [情報処理教育委員会 (2019年3月)]

(1) 優秀教材賞 (1件)

- ・伊藤一成 (青山学院大) 「人型ピクトグラムを用いたプログラミング学習環境「ピクトグラミング」の開発」

13. 若手奨励賞 (14件) [当該コンテストにて表彰] [若手奨励賞選定委員会 (2018年4月～2019年3月)]

<第24回スーパーコンピューティングコンテスト (2018年8月)>

- ・SHIROXTL 戸高 空、早川睦海、鈴木大寛 (宮崎県立宮崎西高等学校)

<第29回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2018年10月) 課題部門>

- ・AKAMOKU -水中カメラとドローンによるアカモクの資源管理- 齊藤勇馬、牛場正敏、出口大洋、大田真裕、林 蓮 (鳥羽商船高等専門学校)

<第29回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2018年10月) 自由部門>

- ・わあるど -Wakka! Relearn&Discovery- 宇山裕大、田貝奈央、濱田悠璃、三好可那子、内田歩輝 (香川高等専門学校詫間キャンパス)

<第29回全国高等専門学校プログラミングコンテスト (2018年10月) 競技部門>

- ・高橋n段 高橋諒大、鈴木暢真、菊地 輝 (仙台高等専門学校名取キャンパス)

<ETロボコン2018 プログラミング部門 (2018年11月)>

- ・チーム八草 水野勝教、古川拓実 (愛知工業大学)

<パソコン甲子園2018 プログラミング部門 (2018年11月)>

- ・KMB86 行方光一、米田優峻 (筑波大学附属駒場高等学校)
- ・✧solars✧ 井上 航、窪田秀哉 (北九州工業高等専門学校)
- ・Ptr168 新居智将、菅野智也 (開成高等学校)

<パソコン甲子園2018 モバイル部門 (2018年11月)>

- ・しろくま 小室凜央、真嘉比浩乃 (沖縄工業高等専門学校)

<第18回日本情報オリンピック (2019年3月)>

- ・田草川 瑞生 (コードアカデミー高等学校) ・戸高 空 (宮崎県立宮崎西高等学校)

<中高生情報学研究コンテスト (2019年3月)>

- ・岩国高理数科課題研究数学班 浅間慶二郎、杉本正飛 (山口県立岩国高等学校)
- ・未熟組込みプログラマー 朱 義文 (世田谷学園高等学校)
- ・True Blue 天羽真嵩 (清風南海学園高等学校)、武藤熙麟 (灘高等学校)、枘田弦也 (灘中学校)

- (1) 学会活動貢献賞：「学会誌における編集業務への貢献」（1名）
・ 櫻 惇志（東工大）
- (2) 学会活動貢献賞：「論文誌への査読貢献」（3名）
・ 重安哲也（県立広島大） ・ 金田重郎（同志社大） ・ 今泉貴史（千葉大）
- (3) 学会活動貢献賞：「デジタルプラクティスへの査読貢献」（1名）
・ 堤 智昭（電機大）
- (4) 学会活動貢献賞：「学会会員管理システム開発への貢献」（1団体）
・ NTTソフトウェアイノベーションセンタ（代表：大森久美子）
- (5) 学会活動貢献賞：「第80回全国大会開催への貢献」（1名）
・ 山名早人（早大）
- (6) 学会活動貢献賞：「FIT2018第17回情報科学技術フォーラム開催への貢献」（1名）
・ 山澤一誠（福岡工大）
- (7) 感謝状：「デジタルプラクティス（編集委員長）への貢献」（1名）
・ 吉野松樹（日立）
- (8) 感謝状：「技術応用活動（運営委員長）への貢献」（1名）
・ 寺中勝美（元NTTテクノクロス）
- (9) 感謝状：「学会会員管理システム開発への貢献」（1団体、1名）
・ （株）東京コンピュータシステム（代表：樽 拓二）、岩岸正明（日立）

15. 支部関係

[各支部総会・支部連合大会等にて表彰] [各支部]

<北海道>

- (1) 研究奨励賞（3名） ・ 澤田拓弥 ・ 相馬翔太 ・ 堀内宏信
- (2) 学術研究賞（2件） ・ 雨坂宇宙、渡邊拓貴、杉本雅則 ・ 山崎聖也、飯塚博幸、山本雅人
- (3) 技術研究賞（2件） ・ 雨夜将吾、嶋田祥太、橋爪宏達、杉本雅則 ・ 宇野耕平、平野 新、橋爪宏達、杉本雅則
- (4) ポスター賞（5名） ・ 桶 智輝 ・ 岸 貴也 ・ 藤田優貴 ・ 前原洋祐 ・ 山名風太
- (5) 工業高専奨励賞（3名） ・ 大坂直輝 ・ 白川貴彦 ・ 田森湧斗

<東北>

- (1) 学生奨励賞（15名程度）
- (2) 奨励賞（5名程度）
- (3) 野口研究奨励賞（1名程度）

<東海>

- (1) 電気関係学会東海支部連合大会奨励賞他受賞者（8名）
・ 五十嵐響 ・ 大西一平 ・ 伊藤康太 ・ 土橋俊紀 ・ 阿部元樹 ・ 長谷川徳賢 ・ 泉春乃 ・ 坂本優太
- (2) 学生論文奨励賞（6名）
・ 鍾 兆前 ・ 河田智明 ・ 加藤新良太 ・ 野崎佑典 ・ 岡田真実 ・ 松原百映

<北陸>

- (1) 優秀論文発表賞（7名） ・ 井上貴雄 ・ 藤尾和裕 ・ 清水大貴 ・ 北村和也 ・ 柳澤理紗 ・ 富澤京介 ・ 仲地駿人
- (2) 優秀学生表彰（12名） ・ 小嶋翔太 ・ 竹内 惇 ・ 石本優太 ・ 川上大貴 ・ 山下正人 ・ 今西 陽
・ 白岩佑介 ・ 中道 柊 ・ 福島朋也 ・ 横井 稜 ・ 藤井達也 ・ 荒木桃子

<関西>

- (1) 学生奨励賞（6名） （2018年度支部大会が台風により中止となった為、学生表彰の授与は無し）

<中国>

- (1) 優秀論文発表賞（4名） ・ 内藤大樹 ・ 佐藤将也 ・ 寺本圭吾 ・ 福原 涼
- (2) 奨励賞（5名） ・ 三宅雄介 ・ 中田有哉 ・ 小島祐里 ・ 高島翔生子 ・ 武田祐樹

<四国>

- (1) 学生奨励賞

<九州>

- (1) 奨励賞-連合大会 (6名) ・赤木里騎 ・曾我周平 ・中村太郎 ・東條貴明 ・鬼塚洋輔 ・岡田真明
- (2) 奨励賞-火の国シホ (4名) ・神屋郁子 ・樋口直哉 ・三鴨道弘 ・池田尚登
- (3) 奨励賞-若手の会 ・志久寛太

16. 情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館 [第81回全国大会 (2019年3月) 認定] [歴史特別委員会 (2018年11月)]

- (1) 情報処理技術遺産 (3件) ※ () 内は製造者、製造年
 - ・NEAC-R3アナログコンピュータ (日本電気、1958年)
 - ・慶應義塾大学トランジスタ計算機K-1 (慶大、1959年)
 - ・OKITAC 5090C (沖電気、1962年)
- (2) 分散コンピュータ博物館 (なし)

17. デジタルプラクティス論文賞 (1件5名) [ソフトウェアジャパン2019 (2019年2月) 表彰] [デジタルプラクティス編集委員会 (2018年11月)]

- ・IMI共通語彙基盤
加藤文彦 (NII)、武田英明 (NII)、田代秀一 (IPA)、平本健二 (経産省)、松澤有三 (インディゴ)

18. ソフトウェアジャパンアワード (2名) [ソフトウェアジャパン2019 (2019年2月) 表彰] [技術応用運営委員会 (2018年9月)]

- ・iPhoneアプリ開発等による高齢化社会でのITの意義の発信 若宮 正子 (NPO法人ブロードバンドスクール協会)
- ・高速なHTTP/2サーバ「H20」の開発 奥 一穂 (ファストリー)

19. FIT関連の各賞

- (1) FIT2018船井業績賞 (1名) ※船井情報科学振興財団主催 [FIT2018 (2018年9月) 表彰] [FIT船井業績賞選定委員会 (2017年11月)]
 - ・Jiawei Han (米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 Abel Bliss Professor)
- (2) FIT2018船井ベストペーパー賞 (3件) ※船井情報科学振興財団主催 [FIT2019 (2019年9月) 表彰] [FITフロンティア委員会 (2018年11月)]
 - ・省レジスタアーキテクチャ向けソフトウェアパイプライニングの評価
千葉修一、青木正樹、鎌塚 俊 (富士通)、松井雅人 (メトロ)、八代 尚 (理化研)
 - ・エージェントのタイプに基づく確率的提携構造形成問題
沖本天太 (神戸大)、上田 俊 (佐賀大)、平山勝敏、藤本真育 (神戸大) ・豊島大弥 (佐賀大)
 - ・機械学習技術による創作物の知的財産評価のための情報理論測度について 金子 格 (東京工芸大)
- (3) FIT2018論文賞 (8件) [FIT2019 (2019年9月) 表彰] [FIT賞選定委員会 (2018年11月)]
 - ・分散アンテナを用いたアクセスポイントによる無線LAN端末位置推定方式
細田真道、坂本 寛、村上友規、花籠 靖、梅内 誠、毛利 忠、小川智明、宮本 勝 (NTT)
 - ・危機対応のための情報共有システムにおけるGIS機能の有効活用 橋本順子・小山 晃、小阪尚子、倉 恒子、岸 晃司 (NTT)
 - ・健康診断予測における経年予測の解釈性を考慮した予測モデルの構築
谷口 敦 (NECソリューションイノベータ)、玉野浩嗣 (NECデータサイエンス研)
 - ・情報理論に基づいた高信頼かつ高効率なハンドサインの設計 高橋時生、内田真人 (早大)
 - ・顔文字を対象とする印象と感情の相互変換手法の提案～読み手が感じる「印象」と読み手が推測する書き手の「感情」を対象として～
熊本忠彦 (千葉工大)
 - ・サンプリングと二部決定図を用いたネットワーク信頼性の近似計算
佐々木勇和 (阪大)、藤原靖宏 (NTTソフトウェアイノベーションセンタ)、鬼塚 真 (阪大)
 - ・犯罪発生履歴データの機械学習による時空間カーネル密度推定型犯罪予測の最適化 中川淳子、小西勇介、宮野博義 (NEC)
 - ・視覚的質問応答のための敵対的学習を用いた多岐質問解答の生成
築山将央、伊神大貴 (東大)、入江 豪 (NTTコミュニケーション科学基礎研)、相澤清晴 (東大)
- (4) FIT2018ヤングリサーチアワード (6名) [FIT2019 (2019年9月) 表彰] [FIT賞選定委員会 (2018年11月)]
 - ・佐々木耀一 (NEC) ・八木武尊 (東京理科大) ・伊藤栄俊 (名工大) ・若松浩平 (千葉大)
 - ・細江麻梨子 (岐阜県警) ・中川舜太 (神戸大)

20. 情報規格調査会関連の表彰

- (1) 標準化功績賞 (4名) [情報規格調査会総会 (2018年5月) 表彰] [情報規格調査会]
・浅井光太郎 (三菱電機) ・妹尾孝憲 (東京電機大) ・松本隆明 (IPA) ・吉岡稔弘 (AI総研)
- (2) 標準化顕功賞 (該当なし) [情報規格調査会総会 (2018年5月) 表彰] [情報規格調査会]
- (3) 標準化貢献賞 (10名) [情報規格調査会総会 (2018年5月) 表彰] [情報規格調査会]
・安達辰巳 (NEC) ・織田哲治 (日本IBM) ・小林正幸 (三菱電機インフォメーションネットワーク)
・谷口昭史 (パイオニア) ・知念徹 (ソニー) ・蝶野慶一 (NEC) ・本庄利守 (NTT)
・増田聡 (日本IBM) ・峯澤彰 (三菱電機) ・安室浩和 (日本IBM)
- (4) 国際規格開発賞 (7名 : 7件) [情報規格調査会 技術委員会 (2018年4月～2019年3月) 表彰] [情報規格調査会]
・齋藤稔 (富士通) ・塩谷和範 ・菅谷寿鴻 (電気通信大) ・鈴木俊宏 (日本オラクル)
・中村健一 (パナソニック) ・宮地充子 (大阪大/北陸先端科学技術大学院大) ・八木隆 (日立製作所)
- (5) 工業標準化事業表彰 [工業標準化表彰式 (2018年10月) 表彰] [経済産業省]
・国際標準化貢献者表彰 (産業技術環境局長表彰) : 榎本義彦 (日本IBM)
・国際標準化奨励者表彰 (産業技術環境局長表彰) : 青木秀一 (日本放送協会)

その他および附属明細書（法定記載事項）

1. その他、内部統制の整備についての決議に該当はありません。
2. その他、事業報告の内容を補足する重要な事項はありません。

以上